

Smart Netcommunity

α ZX Home

ブロードバンドルーターユニット 取扱説明書

このたびは、スマートネットコミュニティ α ZX Home ブロードバンドルーターユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。
- 本商品はスマートネットコミュニティ α ZX Home 主装置に内蔵されています。






安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ パスワードの取り扱いについて

本商品の「Web 設定」画面で入力していただくユーザー用パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■ 取扱説明書の内容について

機能追加などにより取扱説明書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。

- ・ NTT 東日本のホームページ： https://web116.jp/ced/index_biz.html
- ・ NTT 西日本のホームページ： <https://flets-w.com/solution/>

ご使用にあたってのお願い

注意

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 本書は、スマートネットコミュニティαZX Home 標準電話機を例として記載しており、本文中では、特に断りが無い限り「内線電話機」という表現を用いております。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品・技術を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。
IMPORTANT NOTICE
In case you are intending to export this product and/or technology to overseas. You are responsible to verify and comply with Foreign Exchange and Foreign Trade Act in Japan, Export control laws of the United States, and other export related restrictions, and follow the necessary procedures and/or approval prior to export.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（●P8）に従って消去願います。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、スマートネットコミュニティαZX Home シリーズの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 外部からの不正な（意図しない）アクセスなどにより、IP 電話サービスおよびインターネットがご利用できなくなる場合があります。このような場合は弊社ホームページなどで最新のプログラムをそのつど提供してまいりますので、対応内容をご確認のうえ、最新バージョンをご利用いただきますようお願いいたします。なおプログラムのバージョンアップに関しては「プログラムをバージョンアップするには」（●P61）を参照してください。
- 本書では、特に記載が無い限り IPv4 に関する内容を記載しております。
- 本商品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本商品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。

また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

Windows® 10 は、Microsoft®Windows® 10 operating system の略です。

Windows® 8.1 は、Microsoft®Windows® 8.1 operating system の略です。

Microsoft、Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer®、Microsoft Edge® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

*なお、本文中に™、®マークは明記しておりません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について



- 主装置、電話機、モジュージャックや電話配線、LAN配線のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置、電話機、モジュージャックや電話配線、LAN配線に、水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置、電話機、モジュージャックや電話配線、LAN配線は次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所。
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



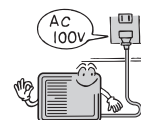
- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

- ・主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- ・主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- ・主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- ・主装置にテーブルクロスなどをかける。
- ・主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

お取り扱いについて



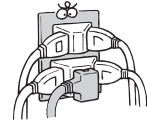
- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。



警告

●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤動作の原因となることもあります。



●お客様による主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●万一、主装置内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●お客様による主装置の電源コード、電話機までの配線およびLAN配線の移動、取り外し、また、電話機を取り外しなどは、火災・感電の原因となることがあります。必ず当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●主装置、電話機、モジュラージャックや電話配線、LAN配線に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグ、電話機コードやLANケーブルのモジュラープラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

●万一、主装置内部、電話機、モジュージャックや電話配線、LAN配線に水などの液体が入った場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードやLANケーブルのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

●主装置や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機は修理に応じられない場合があります）。



●主装置のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。



●主装置の電源コード、電話機までの配線およびLAN配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●主装置の電源コード、電話機までの配線およびLAN配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置の電源スイッチを切って、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



●主装置、電話機、モジュージャックや電話配線、LAN配線、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

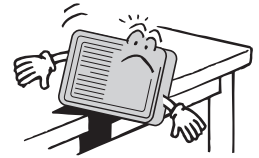
●お客様が用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

設置について

⚠ 注意

●主装置や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・振動、衝撃の多い場所。



●主装置や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠ 注意

●主装置や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品を長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●主装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置について

STOP お願い

●主装置や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバーターエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

- 電話機は平らな面に置いてお使いください。不安定な場所に置くと、落下や故障の原因となることがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）、亜硫酸ガスが発生する場所（工業地域の大気汚染環境）、アンモニアが発生する場所（工場内、下水処理場の汚染環境）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

- 主装置や電話機などをぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話配線やLAN配線のモジュラージャック部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。



- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。
 - ・ 他の内線電話機は使えません。
 - ・ ドアホンは使えません。
 - ・ 発信者電話番号表示機能は使えません。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- 受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

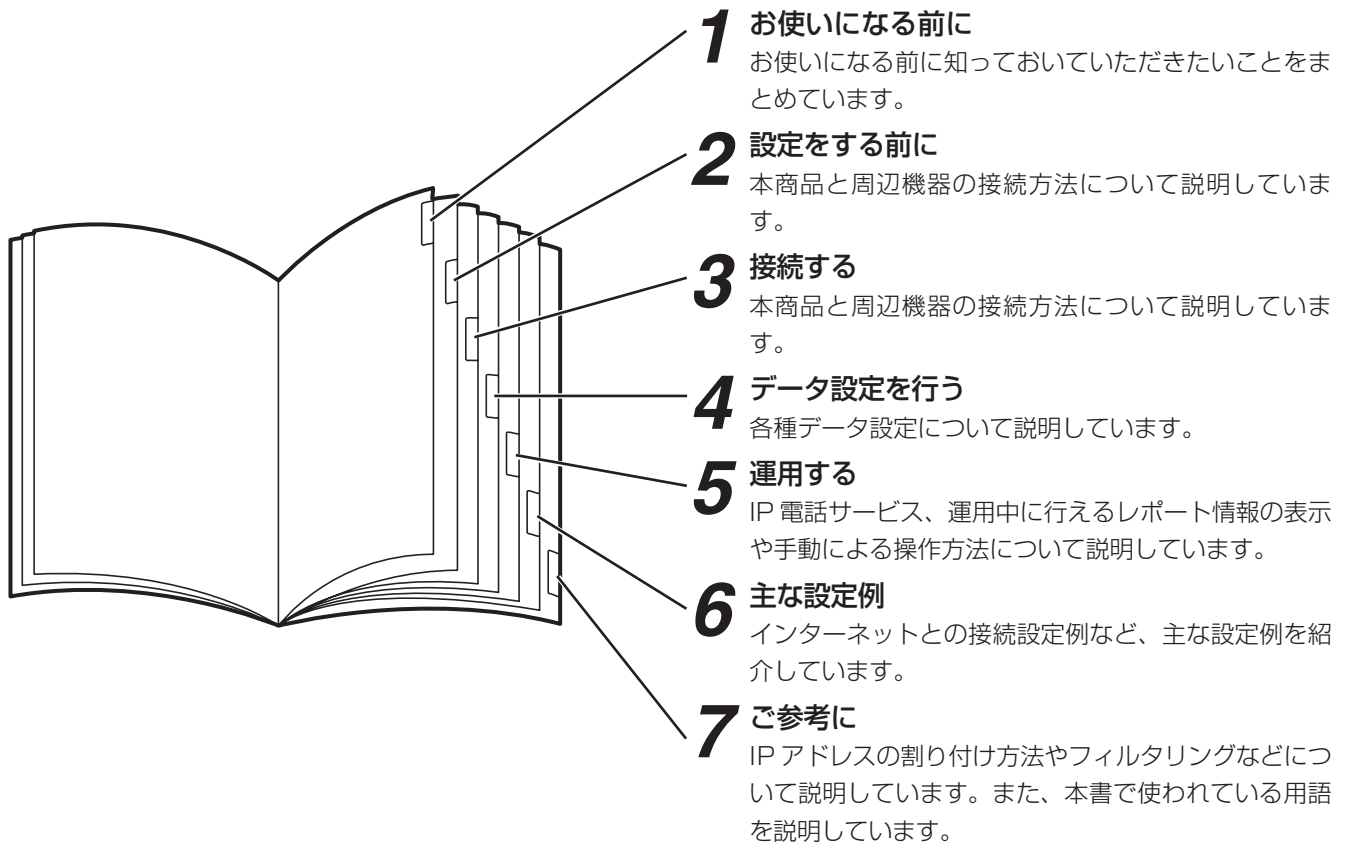
本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を下表に従って消去または変更願います。

ただし、システムデータに保存または保持されているお客様固有情報は下表の処置では消去されませんので、消去したい場合には当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
すべての設定データ	「設定データを初期化するには」（●P51）を参照し、本商品を初期化してください。

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



操作説明ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。

3 接続する **本商品にログインするには**

本商品の各種データ設定するには本商品にログインする必要があります。事前に確認してください。

項目	注意	対応機種	対応OS
ログインID	本商品にログインするに必要のログインIDを入力する。 大文字小文字が区別される。	※1	※2

1 パソコンの Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーの「アドレス」に本商品の IP アドレス「192.168.1.1」(お買い求めの箱) を入力し、「Enter」キーを押します。
接続画面が表示されます。

3 パスワードを入力します。

4 [OK] ボタンをクリックします。
[OK] ボタンをクリックし、本商品にログインしてください。メインメニューが表示されます。

ワンポイント
● ログインIDを確認、変更するには (P42)

お知らせ
● 対応する Web ブラウザーは以下 70 の条件を満たす。
Windows 10、Chrome 最新バージョン、Internet Explorer 11.0、Windows 8.1、Internet Explorer 11.0

ワンポイント／お願い／お知らせ 〈ワンポイント〉

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足をしています。

〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見方	9

1 お使いになる前に

特長	11
利用例	12
インターネット接続および IP 電話サービスの 利用例	12

2 設定をする前に

設定の流れ	13
パソコンの設定	14
ネットワークの設定をする	14
ネットワークの設定を確認する	16
Web ブラウザーの設定	17

3 接続する

本商品にログインするには	18
設定する	19
設定方法について	19

4 データ設定を行う

データ設定	20
LAN インターフェース設定	20
WAN インターフェース設定	21
UPnP 設定	25
PPPoE ブリッジ設定	26
IPv6 ブリッジ設定	27
DHCP サーバー設定	28
ProxyDNS 設定	31
アドレス変換設定	34
ルーティング設定	37
フィルタリング設定	43
パスワードを設定するには	47
自動バージョンアップ設定	48
設定データを保存するには	50
設定データを初期化するには	51

5 運用する

IP 電話サービスをお使いになるには	52
--------------------	----

運用方法について	53
運用時に利用できる操作	53
WAN / VoIP の起動・停止を行うには	54
レポート表示を行うには	55
インターフェース状態を表示する場合	55
パケット統計情報を表示する場合	55
ARP テーブルを表示する場合	56
DNS キャッシュテーブルを表示する場合	56
IP ルーティング情報を表示する場合	56
DHCP 割り付け状態を表示する場合	57
ログを表示する場合	58
設定一覧表示を行うには	59
再起動を行うには	60
プログラムをバージョンアップするには	61
自動バージョンアップ	61
ローカルバージョンアップ	62

6 主な設定例

IPv4 インターネットを利用する場合の設定例	63
インターネット (IPv4) とサービス情報サイト (NGN IPv6/NGN IPv4) を同時に利用する 設定例	65
PPPoE ブリッジ機能を使用して サービス情報サイトを利用する設定例	68
フレッツ・VPN ワイド (LAN 型払い出し) 利用時の設定例	70
擬似的な DMZ の設定例	73
DHCP サーバー機能による IP アドレスの自動割り付け設定例	75
IPv6 インターネットを利用する場合の設定例	76

7 ご参考に

IP 電話サービスについて	77
停電になったときは	78
故障かな?と思ったら	79
用語の説明	80
索引	83
仕様	85
保守サービスのご案内	86

特長

本商品は、スマートネットコミュニティαZX Home 主装置用ブロードバンドルーターユニットです。次のような特長があります。

フレッツ 光ネクスト接続機能

ひかり電話対応機器と接続し、フレッツ 光ネクストを利用することができます。

IP 電話サービス

ひかり電話網、IP 網などを利用して、内線電話機から IP 電話サービスを利用することができます。

ブロードバンドルーター機能内蔵

ブロードバンドルーター機能を内蔵していますので、本商品の LAN ポート下部に接続したパソコンからインターネットに接続することが可能です。

最新のファームウェアに自動的にバージョンアップ

最新のファームウェアに自動的にバージョンアップしたり、最新のファームウェアがあることをお客様へ通知することができます。

ルーティング機能

ルーティング機能として、スタティック IP ルーティング/ソースルーティング/ドメインルーティングと、ルーティングプロトコル (RIP) を使用したダイナミックルーティングをサポートしています。

1
前に
お使いになる

2
前に
設定をする

3
接続する

4
行う
データ設定を

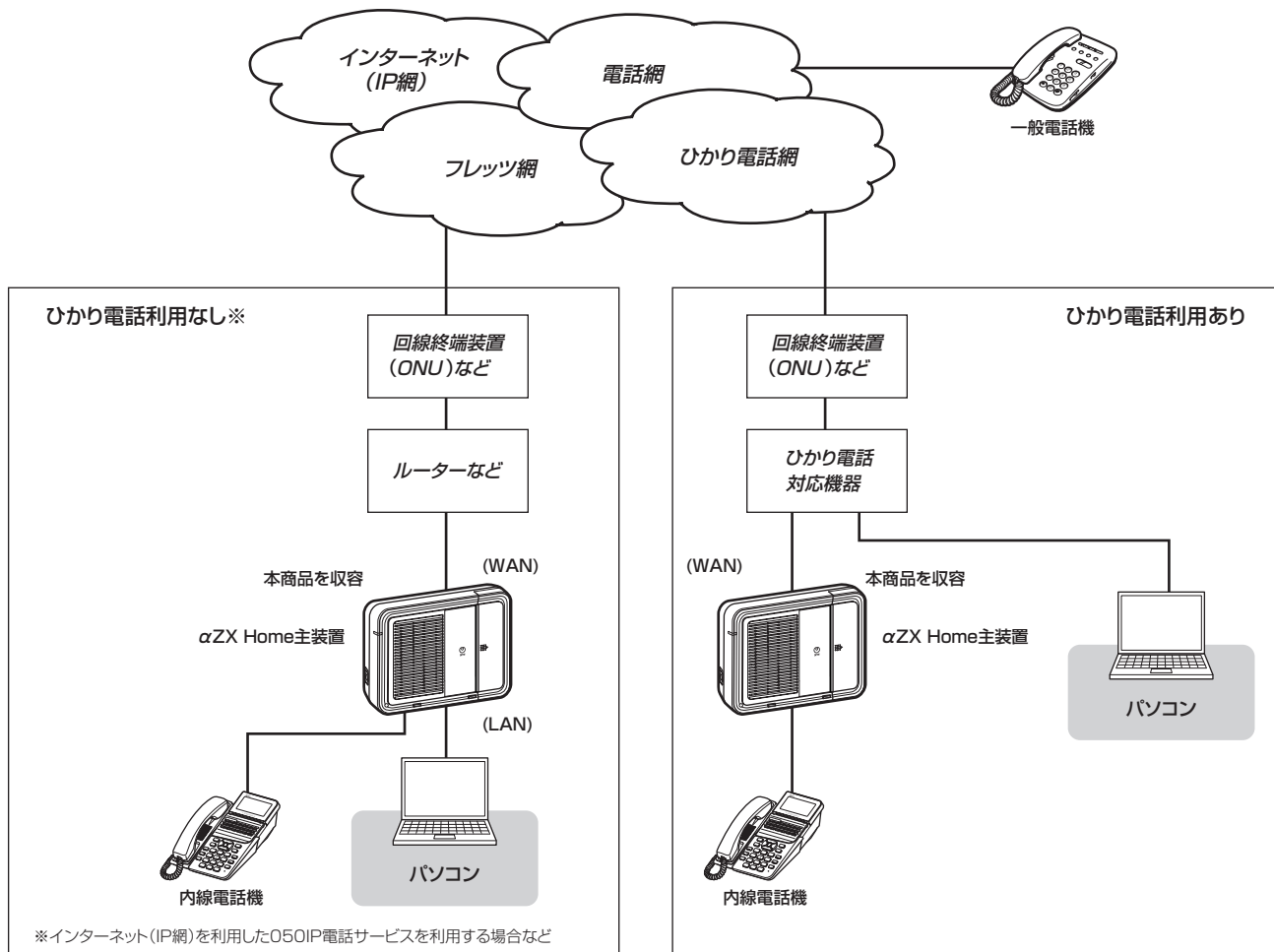
5
運用する

6
主な設定例

7
ご参考に

インターネット接続および IP 電話サービスの利用例

- インターネット (IP 網) を利用したインターネット接続機能が利用可能です。
- ひかり電話対応機器やルーターなどと 10BASE-T / 100BASE-TX で接続し、フレッツ 光ネクストを利用可能です。
- IP 電話サービス機能により、ひかり電話網 / インターネット (IP 網) を利用した音声通話 (IP 電話サービス) が可能です。



お知らせ

- フレッツ 光ネクストをご利用の場合、お住まいの地域がフレッツ 光ネクストの対象地域になっている必要があります。また、当社へのフレッツ 光ネクスト回線のお申し込みと、フレッツ 光ネクストに対応したサービスプロバイダーへのインターネット接続サービスのお申し込みが必要となります。
- 回線の状態により、データ転送のスループットが落ちる場合があります。
- IP 電話サービスをご利用の際には、IP 電話サービスを提供しているプロバイダーなどとの契約が必要です。
- ひかり電話をご利用の場合、お住まいの地域がひかり電話の対象地域になっている必要があります。また、当社へのフレッツ 光ネクスト回線のお申し込みと、ひかり電話のお申し込みが必要となります。
- ひかり電話をご利用の場合で IPv4 インターネットサービスをご利用の場合は、ひかり電話対応機器に接続プロバイダーのアカウントを設定し、ひかり電話対応機器の配下にパソコンを接続してご利用ください。ひかり電話対応機器の設定については、ひかり電話対応機器の取扱説明書を参照してください。
- IPv6 インターネットサービスをご利用の場合は、本商品の上部装置 (ルーターまたはひかり電話対応機器) のネットワークにパソコンなどを接続してご利用ください。詳細は「IPv6 インターネットを利用する場合の設定例」(P76) をご参照ください。
- 本商品の上部には、ひかり電話対応機器やルーターなどを接続してご利用ください。

本商品を設定および運用する場合は、パソコン側で以下の準備が必要です。

本商品とパソコンを LAN 接続する

※本商品とパソコンを LAN 接続するには、設置工事が別途必要になります

αZX Home 主装置の電源が入っていることを確認する

※αZX Home 主装置の電源が入っていない場合は、電源を入れてください

パソコンの電源を入れる

パソコンを設定する (☛P14)

Web ブラウザーを設定する (☛P17)

本商品を設定する (☛P18)

1
前に
お使いになる

2
前に
設定をする

3
接続する

4
行う
データ設定を

5
運用する

6
主な設定例

7
ご参考に

下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザーの設定」に進んでください。(P17)

本書では Windows 10 の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

ネットワークの設定をする

1 コントロールパネルを表示します。

Windows 10 を起動し、「スタート」メニューから「Windows システムツール」フォルダーをクリックし、開いたフォルダーの中から「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ネットワークと共有センター」を表示します。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

3 「ネットワーク接続」を表示します。

「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4 「イーサネットの状態」を表示します。

「イーサネット」をダブルクリックします。



ワンポイント

- 「ネットワーク接続」の画面に、PPPoE 設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください。

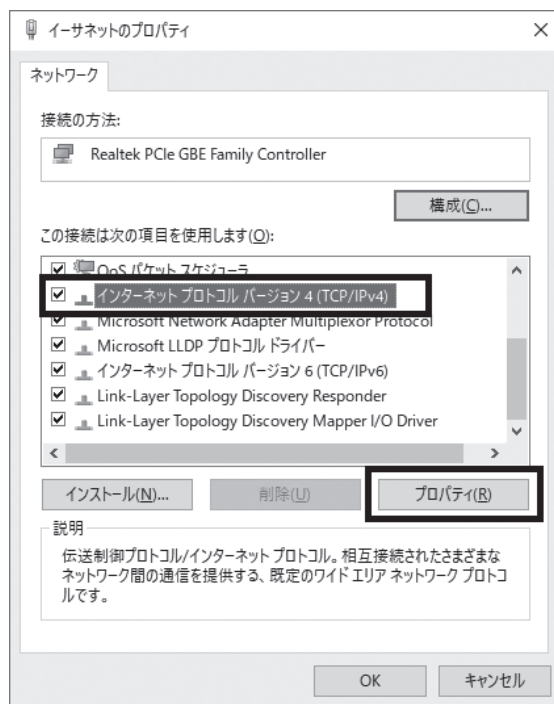
5 「イーサネットのプロパティ」を表示します。

「イーサネットの状態」の「プロパティ」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は「はい」をクリックします。

6 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」を表示します。

「イーサネットのプロパティ」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

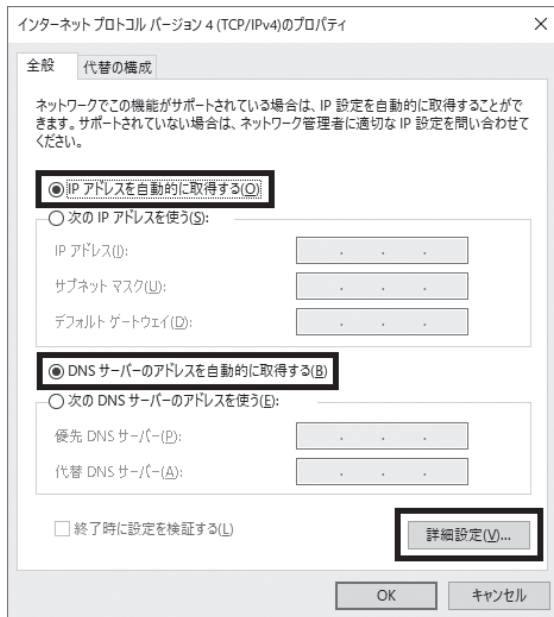


※ 一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IPアドレスとDNSを設定します。

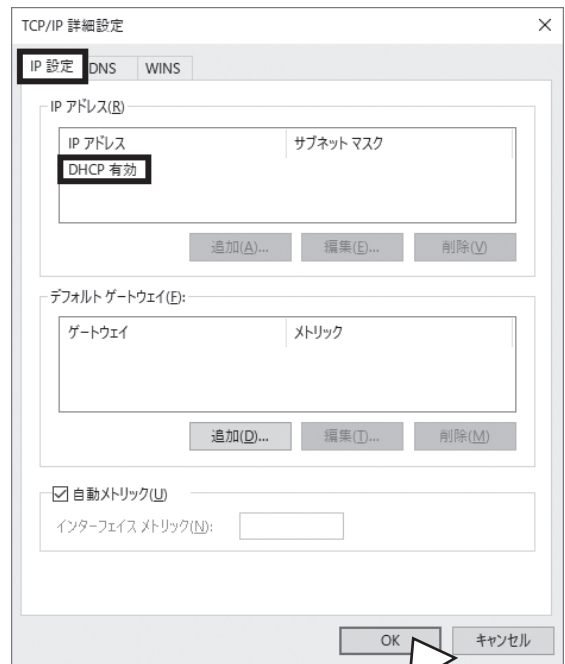
「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

IPアドレスとDNSの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



8 DHCP設定を確認し、「OK」をクリックします。

「TCP/IP 詳細設定」の「IP 設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP 有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

- 「DHCP 有効」となっていない場合、手順7の画面で「IPアドレスを自動的に取得する」と、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

9 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」の「OK」をクリックします。

10 「イーサネットのプロパティ」の「OK」または「閉じる」をクリックします。

11 「イーサネットの状態」の「閉じる」をクリックします。

ネットワークの設定を確認する

パソコン（LANポート）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、次の手順で確認します。

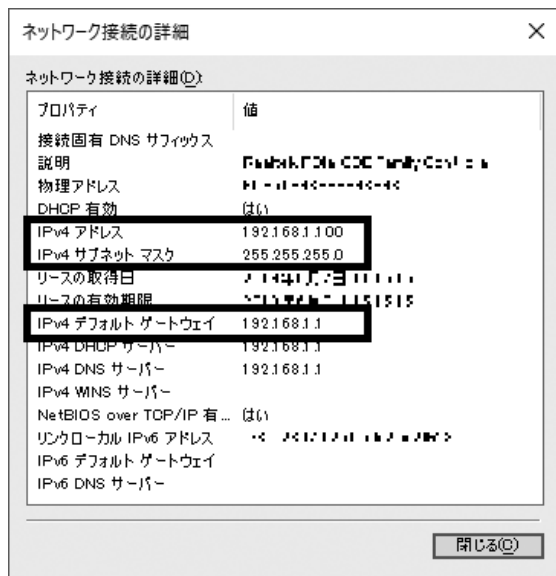
1 「イーサネットの状態」を表示します。
「ネットワークの設定をする」(P14)の手順1～4を行います。

2 「イーサネットの状態」で「詳細」をクリックします。

3 IPアドレスを確認します。
以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。
・ IPv4 アドレス
・ IPv4 サブネットマスク
・ IPv4 デフォルトゲートウェイ
これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

4 「ネットワーク接続の詳細」の「閉じる」をクリックします。

5 「イーサネットの状態」の「閉じる」をクリックします。



ワンポイント

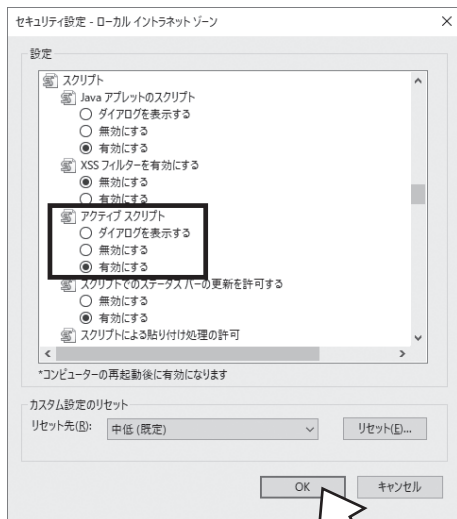
- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 1 からやり直してください。

Web ブラウザーの設定

本商品は、各種の設定を Web ブラウザーで実施します。
各 OS に下記の Web ブラウザーがインストールされていることを確認してください。
Windows 10 の場合：Internet Explorer 11.0、Chromium 版 Edge
Windows 8.1 の場合：Internet Explorer 11.0
画面は Windows 10 で Internet Explorer 11.0 の例です。

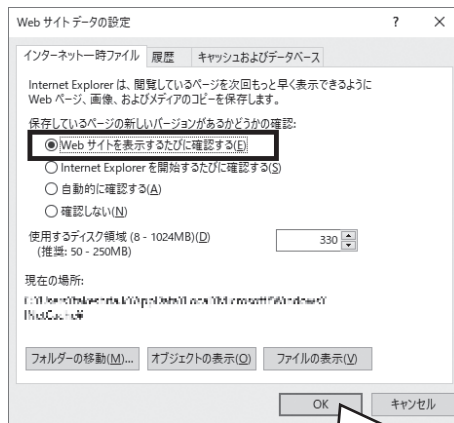
< JavaScript の設定 >

- ① Internet Explorer を起動し、ツールバーの「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
- ② 「セキュリティ」タブをクリックし、「レベルのカスタマイズ」をクリックする。
- ③ スクリプト項目のアクティブスクリプトが「有効にする」に設定されていることを確認し、「OK」をクリックする。



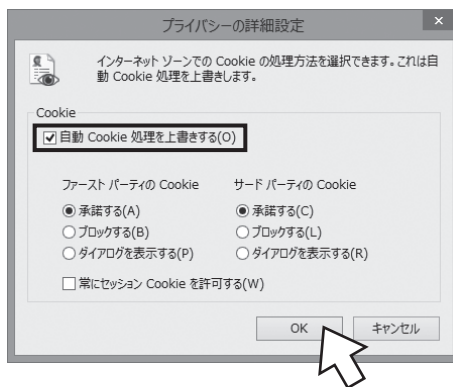
< キャッシュ機能の設定 >

- ① Internet Explorer を起動し、ツールバーの「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
- ② 「全般」タブをクリックし、「閲覧の履歴」の「設定」をクリックする。
- ③ 「Web サイトを表示するたびに確認する」に設定されていることを確認し、「OK」をクリックする。



< Cookie の設定 >

- ※ Windows 8.1 をご利用の場合には、下記設定が必要となります。
- ① Internet Explorer を起動し、ツールバーの「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
 - ② 「プライバシー」タブをクリックし、「詳細設定」をクリックする。
 - ③ 「自動 Cookie 処理を上書きする」にチェックがついていることを確認し、「OK」をクリックする。



※画面は Windows 8.1 での例です。



お知らせ

- Web ブラウザーは、ホームページを見るためのソフトウェアです。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は「キャンセル」をクリックして、ダイアログを終了してください。
- Web ブラウザーの「戻る」、「進む」は使用しないでください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 本商品の設定終了後、必要に応じて Web ブラウザーの設定を変更前の設定に戻してください。
- 設定画面にて「¥」を入力した際、Web ブラウザーのフォント設定によっては「\」と表示される場合があります。本書では「¥」に統一して記載しています。

1 前に
お使いになる

2 前に
設定をする

3
接続する

4 行う
データ設定を

5
運用する

6
主な設定例

7
ご参考に

本商品にログインするには

本商品の各種データ設定をするには本商品にログインする必要があります。
画面に従ってログインしてください。

名称	説明	設定範囲	初期値
パスワード	本商品にログインするためのパスワードを入力する。 大文字小文字も区別される。	最大 16 文字 (半角文字) (A ~ Z、a ~ z、 0 ~ 9、-、/、_)	user

1 パソコンの Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーの「アドレス」に本商品の IP アドレス「192.168.1.1」（お買い求め時）を入力し、「Enter」キーを押します。
認証画面が表示されます。

3 パスワードを入力します。



お知らせ

- ユーザー名は入力しないでください。入力した場合ログインできません。
- お買い求め時は、パスワードは「user」が設定されています。
- 認証画面で「パスワードを保存する」や「資格情報を記憶する」などのチェックボックスをチェックしても、入力したパスワードはパソコンに保存されません。次回、本商品にログインする場合は、再びパスワードを入力する必要があります。

4 「OK」ボタンをクリックします。
「OK」ボタンをクリックし、本商品にログインしてください。メインメニューが表示されます。



ワンポイント

- パスワードを設定・変更するには (P47)



お知らせ

- 使用する Web ブラウザーは以下のものを推奨します。
Windows 10 : Chromium 版 Edge、
Internet Explorer 11.0
Windows 8.1 : Internet Explorer 11.0

本商品へのデータ設定は、ネットワーク上のパソコンから Web ブラウザーにより行います。日本語で表示されますので画面に従って各種データを設定していきます。データ設定を行う場合は、本商品にログイン (●P18) し、メインメニューから「設定メニュー」を選択します。

設定方法について

■設定方法

本商品の各種設定は、「設定メニュー」から行います。



お知らせ

- 内線電話機により本商品の設定を行うことができます。
〈設定内容〉
 1. 本商品の IP アドレスとサブネットマスクの確認
 2. 本商品のパスワード初期化
 操作方法は、主装置の取扱説明書をご参照ください。
- Web ブラウザー画面が正しく表示されない場合などは、Web ブラウザーの JavaScript の設定が有効になっているかご確認ください。
- Web ブラウザーのキャッシュが有効になっていると、最新の設定データが表示されない場合があります。そのときは Web ブラウザーの「更新」ボタンにより表示し直してください。
- ウイルス監視ソフトが動作していると、設定画面が完全に表示されないことがあります。この場合はウイルス監視ソフトを停止してから設定を行ってください。設定が完了したら、ウイルス監視ソフトを再開してください。
- 表示される画面は、使用する Web ブラウザーにより多少異なります。
- 入力方法は以下のとおりです。
 - パソコンからの入力は ASCII 文字のみですので、シフト JIS (漢字、ひらがな、カナ) は入力しないでください。
 - 不正なデータを入力するとエラーが表示されます。再度設定する際は、設定前の状態を表示する場合があります。
 - データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより、設定の変更を取り消すことができます。
 - チェック欄をクリックするとチェックマークがつけられます。もう一度クリックするとチェックマークを外すことができます。
 - チェックマークは複数個つけることができます。
- 2 台以上のパソコンから同時にデータ設定を行わないでください。
- Windows 10、8.1 では、Web ブラウザーの「ポップアップブロック」の設定を無効にしてください。また、セキュリティレベルが「高」の場合も、「ポップアップブロック」の設定にかかわらず表示不可となるため、「高」にしないでください。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

LAN インターフェース設定

LAN インターフェース設定では、本商品の LAN インターフェースに対する設定を行います。
「LAN インターフェース設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「LAN インターフェース」を選択します。



名称	説明	設定範囲	初期設定
インターフェース名	LAN インターフェースの名称を設定する。 インターフェースの名称は、システム内で重複してはならない。	最大 8 文字 (A ~ Z、 a ~ z、0 ~ 9、-、/、_)	LAN1
IP アドレス	LAN インターフェースの IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255、10 進数)	192.168. 1.1
サブネットマスク	LAN インターフェースのサブネットマスクのビット数を設定する。	1 ~ 30、10 進数(bit)	24

1 インターフェース名

必ずしも変更する必要はありません。わかりやすい接続名などに変更すると便利です。

2 IP アドレス

IP アドレスを入力します。



ワンポイント

● IP アドレスとサブネットマスクの設定について

本商品では、IP アドレスおよびサブネットマスクの設定を変更すると、変更された内容によっては DHCP サーバー設定 (●P28) を自動的に変更します。

3 サブネットマスク

サブネットマスクのビット数を入力します。

4 「設定」 ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ったあと、本商品の再起動 (●P60) およびパソコンの再起動を行ってください。



お知らせ

●以下の IP アドレスとサブネットマスクの組み合わせでご利用ください。

クラス	IP アドレス	サブネットマスク
クラス A	10.0.0.0 ~ 10.255.255.255	8 ~ 30
クラス B	172.16.0.0 ~ 172.31.255.255	16 ~ 30
クラス C	192.168.0.0 ~ 192.168.255.255	24 ~ 30

WAN インターフェース設定

WAN インターフェース設定では、本商品の WAN インターフェースに対する設定を行います。IP アドレス割り当て方式には、以下の 3 つの方式があります。WAN インターフェースに対する設定により設定できる割り当て方式が決まっています。

■ PPPoE 設定

- PPPoE 認証 PPPoE 認証で IP アドレスを割り当てる方式 (WAN1 ~ 3)

■ IPoE 設定

- IP 固定設定 固定 IP アドレスを割り当てる方式 (WAN4)
- IP 自動取得 IP アドレスを自動取得で割り当てる方式 (WAN5)

PPPoE 設定と IPoE 設定は、同時に有効とすることができます。ただし、IP 固定設定と IP 自動取得は、いずれか片方のみ有効となります。

「WAN インターフェース設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「WAN インターフェース」をクリックします。



■ PPPoE 認証で IP アドレスを割り当てる場合 (WAN1 ~ 3)

フレッツ 光ネクストを利用したインターネット接続をするには、PPPoE 設定のインターフェース名を選択して、WAN インターフェースの設定を行います。プロバイダーなどとの契約内容に合わせて各項目を設定してください。

名称	説明	入力範囲	初期値
インターフェース名※	WAN インターフェースの名称を設定する。 インターフェースの名称は、システム内で重複してはならない。	最大 8 文字 (A ~ Z、 a ~ z、0 ~ 9、-、/、_)	WAN1 ~ WAN3
セッション※	この接続を有効にするか、無効にするかを選択する。	無効 / 有効	WAN1 のみ 有効
認証方式※	相手からの認証要求に対して認証方式を選択する。	なし / PAP / CHAP	WAN1 のみ PAP
接続ユーザー名※	プロバイダーとの契約時に通知されるユーザー名 (ログイン名、認証 ID、ログイン ID、接続 ID など) を設定する。	最大 64 文字 (制御 コード、スペースを 除く ASCII 文字)	—
接続パスワード※	プロバイダーとの契約時に通知されるパスワードを設定する。	最大 64 文字 (制御 コード、スペースを 除く ASCII 文字)	—

※変更した設定は、次の接続時に有効となります。

1

PPPoE 設定の一覧から設定するインターフェース名(初期値:WAN1 ~ 3)をクリックします。

選択した「PPPoE 設定」画面が表示されます。

2

インターフェース名

必ずしも変更する必要はありません。接続先がわかりやすいようにプロバイダー名などに変更すると便利です。

3

セッション

有効にするか、無効にするかを選択します。

4

認証方式

プロバイダーから指定された認証方式を選択します。

5

接続ユーザー名

プロバイダーとの契約時に通知されるユーザー名（ログイン名、認証 ID、ログイン ID、接続 ID など）を入力します。



お知らせ

- 接続ユーザー名と接続パスワードの入力は必ず行ってください。

6

接続パスワード

プロバイダーとの契約時に通知されるパスワードを入力します。

7

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存（●P50）を行ったあと、WAN インターフェースに対する停止→起動の操作（●P54）により、接続し直してください。
他のインターフェース（WAN1～3）を設定する場合は、手順 1 からを繰り返します。

■固定 IP アドレスを割り当てる場合 (WAN4)

IP アドレスがすでに割り当てられたネットワークに接続するには、IPoE 設定のインターフェース名 (IP 固定設定) を選択して、WAN インターフェースの設定を行います。

名称	説明	入力範囲	初期値
インターフェース名	WAN インターフェースの名称を設定する。 インターフェースの名称は、システム内で重複してはならない。	最大 8 文字 (A～Z、 a～z、0～9、-、/、_)	WAN4
セッション	この接続を有効にするか、無効にするかを選択する。	無効/有効	無効
IP アドレス	WAN インターフェースの IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0～255、10 進数)	—
サブネットマスク	WAN インターフェースのサブネットマスクのビット数を設定する。	1～32、10 進数 (bit)	—
デフォルトゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0～255、10 進数)	—

1 IPoE 設定の一覧から設定するインターフェース名 (初期値:WAN4) をクリックします。

「IP 固定設定」画面が表示されます。

2 インターフェース名

必ずしも変更する必要はありません。わかりやすい接続名などに変更すると便利です。

3 セッション

有効にするか、無効にするかを選択します。



お知らせ

- セッション設定で「有効」を選択した場合、IP 自動取得 (●P24) のセッション設定は自動的に「無効」になります。

4 IP アドレス

IP アドレスを入力します。

5 サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。

6 デフォルトゲートウェイアドレス

デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

7 「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ったあと、本商品の再起動 (●P60) を行ってください。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

■ IP アドレスを自動取得する場合 (WAN5)

WAN インターフェースが接続されたネットワークで IP アドレスを自動取得するには、IPoE 設定のインターフェース名 (IP 自動取得) を選択して、WAN インターフェースの設定を行います。

名称	説明	入力範囲	初期値
インターフェース名	WAN インターフェースの名称を設定する。 インターフェースの名称は、システム内で重複してはならない。	最大 8 文字 (A ~ Z、 a ~ z、0 ~ 9、-、/、_)	WAN5
セッション	この接続を有効にするか、無効にするかを選択する。	無効 / 有効	無効
ホスト名	自動取得するときのホスト名を設定する。	最大 32 文字 (制御コード、 スペースを除く ASCII 文字)	BRUaaaaaaaa (a : 本商品の WAN イン ターフェース の MAC アド レスの下 4 バ イト分)

1 IPoE 設定の一覧から設定するインターフェース名 (初期値:WAN5) をクリックします。

「IP 自動取得設定」画面が表示されます。

2 インターフェース名

必ずしも変更する必要はありません。わかりやすい接続名などに変更すると便利です。

3 セッション

有効にするか、無効にするかを選択します。

**お知らせ**

- セッション設定で「有効」を選択した場合、IP 固定設定 (●P23) のセッション設定は自動的に「無効」になります。

4 ホスト名

ホスト名を入力します。

5 「設定」 ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ったあと、本商品の再起動 (●P60) を行ってください。

UPnP 設定

UPnP 設定では、UPnP (Universal Plug and Play) を利用するインターフェースを選択します。「UPnP 設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「UPnP」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
UPnP 機能 (IGD) 利用接続先	UPnP (IGD) を利用するインターフェースを選択する。	なし / WAN1 / WAN2 / WAN3 / WAN5	なし
UPnP 機能 (CP)	UPnP 機能 (CP) を有効にするか、無効にするかを選択する。	無効 / 有効	無効

1 UPnP 機能 (IGD) 利用接続先

UPnP (IGD) を利用する接続先を選択します。

2 UPnP 機能 (CP)

有効にするか、無効にするかを選択します。



お知らせ

- UPnP 機能 (CP) 設定で「有効」を選択する場合、以下のデータ設定が必要です。
 - WAN4 または WAN5 のセッション設定「有効」
 - ルーター機能「無効」
 - アドレス変換方式「しない」

3 「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ってください。UPnP 機能 (IGD) 利用接続先設定を変更した場合は、WAN インターフェースに対する停止→起動の操作 (●P54) により、接続し直してください。

1
前に
お使いになる

2
前に
設定をする

3
接続する

4
行う
データ設定を

5
運用する

6
主な設定例

7
ご参考に

PPPoE ブリッジ設定

PPPoE ブリッジ機能とは、本商品の LAN インターフェースに接続されているパソコンから PPPoE プロトコルで直接インターネットに接続し、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができる機能です。「PPPoE ブリッジ設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「PPPoE ブリッジ」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
PPPoE ブリッジ接続	PPPoE ブリッジ接続を使用するか、しないかを選択する。	しない/する	しない

1 PPPoE ブリッジ接続

接続するか、しないかを選択します。



ワンポイント

● インターネット接続設定と PPPoE ブリッジの併用

PPPoE ブリッジ接続により、インターネット接続中に「サービス情報サイト」などへ LAN 側からアクセスすることができます。



お知らせ

- PPPoE ブリッジ接続と本商品の WAN 接続を利用する場合、契約回線(フレッツ 光ネクスト)のセッション数制限により同時に利用できないことがあります。
- PPPoE ブリッジにより「サービス情報サイト」へ接続されているパソコンから、インターネットを同時に利用できないことがあります。
- パソコンからの PPPoE による接続プロバイダーと本商品の接続プロバイダーが同じアカウントに設定されていると、同時に接続することができないことがあります。ご注意ください。

2

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (P50) を行ってください。

IPv6 ブリッジ設定

IPv6 ブリッジ機能とは、本商品の LAN/WAN インターフェースに接続されているネットワーク機器どうしで IPv6 プロトコルによる通信を行うことができる機能です。

「IPv6 ブリッジ設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「IPv6 ブリッジ」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
IPv6 ブリッジ接続	IPv6 ブリッジ接続するか、しないかを選択する。	しない/する	しない

1

IPv6 ブリッジ接続

IPv6 ブリッジ接続を使用するか、しないかを選択する。

2

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存（●P50）を行ってください。



お知らせ

- IPv6 インターネットサービスをご利用の場合は、IPv6 ブリッジ機能は利用せず、本商品の上部装置（ひかり電話対応機器など）のネットワークにパソコンなどを接続してご利用ください。詳細は「IPv6 インターネットを利用する場合の設定例」（●P76）をご参照ください。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

DHCP サーバー設定

DHCP サーバー機能とは、LAN 側に接続されているパソコンからの要求により設定された IP アドレスの割り付けやサーバーアドレス情報の通知を行うことができる機能です。また、固定割り付けテーブルを設定することにより、最大 8 台のパソコンなどの端末に IP アドレスを静的に割り付けることが可能です。

「DHCP サーバー設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「DHCP サーバー」をクリックします。



「固定割り付けテーブル設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「固定割り付けテーブル」をクリックします。



本商品の DHCP サーバー機能としては、次のデータを割り付けまたは通知します。

- ① Client Server-assigned IP address : クライアントに割り付ける IP アドレス
- ② Server IP address (DHCP Server) : 本商品の LAN インターフェース設定の IP アドレス
- ③ Subnet mask : 本商品の LAN インターフェース設定のサブネットマスク
- ④ Gateway address : 本商品のデフォルトゲートウェイに設定された IP アドレス
- ⑤ Domain Name Server address : 本商品の LAN インターフェース設定の IP アドレスまたは ProxyDNS 設定の通知プライマリ/セカンダリ DNS サーバーアドレス
- ⑥ NetBIOS over TCP/IP Name Server : 本商品のプライマリ/セカンダリ WINS サーバーアドレス

● DHCP サーバー設定

名称	説明	設定範囲	初期設定
DHCP サーバー機能	DHCP サーバー機能を有効にするかどうかを選択する。	無効/有効	有効
割り付け先頭 IP アドレス	クライアントに割り付ける IP アドレスの先頭を設定する。	X.X.X.X (X:0~255、10進数)	192.168. 1.2
割り付け数	割り付け IP アドレスで指定したアドレスから割り付けを行うアドレスの数を設定する。	1 ~ 64、10進数 (個)	64
リース時間	クライアントに割り付ける IP アドレスの使用期限を設定する。「0」に設定された場合は無期限のリースとなる。	0 ~ 1000、10進数 (時間)	24
プライマリ WINS サーバーアドレス	通知するプライマリ WINS サーバー IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0~255、10進数)	—
セカンダリ WINS サーバーアドレス	通知するセカンダリ WINS サーバー IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0~255、10進数)	—
デフォルトゲートウェイ	通知するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0~255、10進数)	192.168. 1.1

●固定割り付けテーブル設定（最大 8 個）

名称	説明	設定範囲	初期設定
IP アドレス	静的に割り付ける IP アドレスを設定する。ここで設定する IP アドレスは DHCP サーバー設定で設定された範囲内でも登録可能。	X.X.X.X (X:0~255、10進数)	—
ホスト名	IP アドレスを静的に割り付ける端末のホスト名を設定する。MAC アドレスを入力した場合は省略が可能。	最大 32 文字（制御コード、スペースを除く ASCII 文字）	—
MAC アドレス	IP アドレスを静的に割り付ける端末の MAC アドレスを設定する。ホスト名を入力した場合は省略が可能。	XX:XX:XX:XX:XX:XX (X:0~F、16進数)	—



お知らせ

●固定割り付けテーブルの設定は、ホスト名および MAC アドレスの設定により静的に割り付けられます。ホスト名のみの登録では割り付けが重複することがあります。

1

DHCP サーバー機能

DHCP サーバー機能を有効にするかどうかを選択します。



お知らせ

●DHCP サーバー機能「無効」を選択した場合は、以下の設定は無効になります。

2

割り付け先頭 IP アドレス

クライアントに割り付ける IP アドレスの先頭を入力します。



お知らせ

●LAN インターフェースの IP アドレスとサブネットマスクで設定されたサブネット外の IP アドレスは設定できません。

3

割り付け数

割り付け数を入力します。

4

リース時間

リース時間を入力します。

5

プライマリ WINS サーバーアドレスとセカンダリ WINS サーバーアドレス

通知するプライマリ WINS サーバーアドレスとセカンダリ WINS サーバーアドレスを入力します。WINS サーバーアドレスを通知しない場合は省略することができます。

6

デフォルトゲートウェイ

通知するデフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

7

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存（●P50）を行ってください。

(次ページへつづく)

1
前に
お使いになる

2
前に
設定をする

3
接続する

4
行う
データ設定を

5
運用する

6
主な設定例

7
ご参考に

固定割り付けテーブル

パソコンなどの端末のホスト名／MAC アドレスと、静的に割り付ける IP アドレスの組を入力します。

●新規に登録する場合

1 ルーター設定メニューで「固定割り付けテーブル」をクリックし、「新規」ボタンをクリックします。

2 「固定割り付けテーブル設定」画面が表示されるので、各項目の入力を行います。

3 「設定」ボタンをクリックします。

入力した内容が新規登録され、固定割り付けテーブルに追加されます。

■設定を有効にするために設定データ保存 (●P50) を行ってください。

●変更する場合

1 ルーター設定メニューで「固定割り付けテーブル」をクリックし、固定割り付けテーブルの「No.」欄の変更したいテーブルの数字をクリックします。

2 「固定割り付けテーブル設定」画面が表示されるので、変更を行います。

3 「設定」ボタンをクリックします。

変更した内容が固定割り付けテーブルに表示されます。

■設定を有効にするために設定データ保存 (●P50) を行ってください。

●削除する場合

1 ルーター設定メニューで「固定割り付けテーブル」をクリックし、固定割り付けテーブルの「No.」欄の削除したいテーブルの数字をクリックします。

2 「固定割り付けテーブル設定」画面が表示されるので、確認します。

3 「削除」ボタンをクリックします。

「削除」ボタンをクリックすると、「この設定を削除します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。

4 確認メッセージに対して「OK」ボタンをクリックします。

テーブルの削除が反映された固定割り付けテーブルが表示されます。

■設定を有効にするために設定データ保存 (●P50) を行ってください。



お知らせ

- 静的に IP アドレスを割り付ける場合には、固定割り付けテーブルへの設定が必要になります。
- IP アドレスは、DHCP サーバー設定で設定された範囲内での設定も可能です。ただし、LAN インターフェースの IP アドレスとサブネットマスクで設定されたサブネット外の IP アドレスは無効となります。
- ホスト名／MAC アドレスと IP アドレスの組は、最大 8 個まで設定することができます。
- 端末の MAC アドレスは、接続されている LAN カード／ボードに記載されています。詳しくは使用している LAN カード／ボードの取扱説明書を参照してください。
- IP アドレスの割り付けは、端末から通知されるホスト名、または MAC アドレスが一致した端末に割り付けられます。
- ホスト名と MAC アドレスの両方が登録されている場合は、両方が一致する端末に割り付けられます。
- DHCP サーバー機能を「無効」に選択した場合は、固定割り付けテーブルの設定は無効になります。



お知らせ

- すでに DHCP サーバーがネットワークに接続されている場合は、本商品の DHCP サーバー機能を「無効」に設定し、DHCP サーバー側で一括管理してください。
- 本商品を再起動したときは、本商品の DHCP サーバー機能を利用しているパソコンを再起動してください。

ProxyDNS 設定

ProxyDNS 機能とは、ネットワーク端末の DNS サーバーアドレスを本商品の IP アドレスに設定することにより、接続されている接続先の DNS サーバーを使用してアドレス解決を行うことができる機能です。このため、パソコン側の設定を変更せずにアドレス解決が可能になります。

またホストテーブルにホスト名と IP アドレスを登録することにより一致するホスト名に対して DNS の代理応答を行います。

「ProxyDNS 設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「ProxyDNS」をクリックします。



「ホストテーブル設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「ホストテーブル」をクリックします。



● ProxyDNS 設定

名称	説明	設定範囲	初期設定
ProxyDNS 機能※	ProxyDNS 機能を有効にするかどうかを選択する。	無効／有効	有効
問い合わせ先取得方法※	DNS の問い合わせを解決できないときに問い合わせを行う上位 DNS サーバーアドレスの取得方法を選択する。固定 IP アドレスの場合は、設定された DNS サーバーアドレスへ問い合わせを行う。自動取得の場合は、自動取得先インターフェースから通知される DNS サーバーアドレスへ問い合わせを行う。	固定 IP アドレス／自動取得	自動取得
自動取得先インターフェース※	問い合わせ先取得方法を「自動取得」にした場合に設定する。上位 DNS サーバーアドレスを自動取得する WAN インターフェースを選択する。	WAN1 / WAN2 / WAN3 / WAN5	WAN1
問い合わせ先プライマリ DNS サーバーアドレス※	DNS 問い合わせ先のプライマリ DNS サーバーアドレスを設定する。問い合わせ先取得方法が固定 IP アドレスの場合に設定する。	X.X.X.X (X:0～255、10 進数)	—
問い合わせ先セカンダリ DNS サーバーアドレス※	DNS 問い合わせ先のセカンダリ DNS サーバーアドレスを設定する。問い合わせ先取得方法が固定 IP アドレスの場合に設定する。(省略可)	X.X.X.X (X:0～255、10 進数)	—
DNS サーバーアドレス通知※	ProxyDNS 機能が無効の場合に、DHCP サーバー機能により DNS サーバーの IP アドレス通知をするかどうかを選択する。	しない／する	しない
通知プライマリ DNS サーバーアドレス※	DHCP サーバー機能により通知するプライマリ DNS サーバーアドレスを設定する。DNS サーバーアドレス通知が「する」の場合に設定する。	X.X.X.X (X:0～255、10 進数)	—
通知セカンダリ DNS サーバーアドレス※	DHCP サーバー機能により通知するセカンダリ DNS サーバーアドレスを設定する。DNS サーバーアドレス通知が「する」の場合に設定する。(省略可)	X.X.X.X (X:0～255、10 進数)	—

※変更した設定は、次回の接続時に有効となります。

●ホストテーブル設定（最大 32 個）

名称	説明	設定範囲	初期設定
ホスト名	テーブルに登録するホスト名を設定する。	最大 32 文字（制御コード、スペースを除く ASCII 文字）	—
IP アドレス	ホスト名に対して割り付ける IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0～255、10 進数)	—

1 ProxyDNS 機能

ProxyDNS 機能を有効にするかどうかを選択します。



お知らせ

- ProxyDNS 機能「無効」を選択した場合は、問い合わせ先取得方法、問い合わせ先プライマリ DNS サーバー、問い合わせ先セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスの設定は無効になります。

2 問い合わせ先取得方法

DNS 問い合わせ方法を選択します。



お知らせ

- 問い合わせ方法として「自動取得」を選択した場合、接続先のプロバイダーなどによっては DNS サーバーアドレスを取得できない場合があります。この場合、「固定 IP アドレス」を選択し、プロバイダーなどから指定された DNS サーバーアドレスを「問い合わせ先プライマリ DNS サーバーアドレス」に設定します。

3 自動取得先インターフェース

問い合わせ先取得方法で「自動取得」を選択した場合、WAN インターフェース名 (●P21) を選択します。

4 問い合わせ先プライマリ DNS サーバーアドレスと問い合わせ先セカンダリ DNS サーバーアドレス

- ・問い合わせ先取得方法で「固定 IP アドレス」を選択した場合、問い合わせ先のプライマリ DNS サーバーとセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。セカンダリ DNS サーバーの設定は省略することができます。
- ・プライマリ DNS サーバーとセカンダリ DNS サーバーの設定は、問い合わせ先取得方法を「固定 IP アドレス」に設定したときのみ有効です。

5 DNS サーバーアドレス通知

ProxyDNS 機能が無効の場合に、DHCP サーバー機能により DNS サーバーアドレス通知をするかどうかを選択します。



お知らせ

- ProxyDNS 機能が有効な場合は、本商品の IP アドレスを通知します。
- DNS サーバーアドレス通知「しない」を選択した場合は、通知プライマリ DNS サーバーアドレスと通知セカンダリ DNS サーバーアドレスの設定は無効となります。

6 通知プライマリ DNS サーバーアドレスと通知セカンダリ DNS サーバーアドレス

DNS サーバーアドレス通知「する」を選択した場合、通知するプライマリ DNS サーバーとセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。セカンダリ DNS サーバーの設定は省略することができます。

7

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存（●P50）を行ったあと、WAN インターフェースに対する停止→起動の操作（●P54）により、接続し直してください。

ホストテーブル

- DNS 代理応答を行うホスト名と IP アドレスの組を入力します。
- ホスト名と IP アドレスの組は、最大 32 個まで設定することができます。

●新規に登録する場合

- 1 ルーター設定メニューで「ホストテーブル」をクリックし、「新規」ボタンをクリックします。
- 2 「ホストテーブル設定」画面が表示されるので、各項目の入力を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。
入力した内容が新規登録され、ProxyDNS ホストテーブルに追加されます。
■設定を有効にするために設定データ保存（●P50）を行ってください。

●変更する場合

- 1 ルーター設定メニューで「ホストテーブル」をクリックし、ProxyDNS ホストテーブルの「No.」欄の変更したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 「ホストテーブル設定」画面が表示されるので、変更を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。
変更した内容が ProxyDNS ホストテーブルに表示されます。
■設定を有効にするために設定データ保存（●P50）を行ってください。

●削除する場合

- 1 ルーター設定メニューで「ホストテーブル」をクリックし、ProxyDNS ホストテーブルの「No.」欄の削除したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 「ホストテーブル設定」画面が表示されるので、確認します。
- 3 「削除」ボタンをクリックします。
「削除」ボタンをクリックすると、「この設定を削除します。よろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。
- 4 確認メッセージに対して「OK」ボタンをクリックします。
テーブルの削除が反映された ProxyDNS ホストテーブルが表示されます。
■設定を有効にするために設定データ保存（●P50）を行ってください。

8

**お知らせ**

- ソースルーティングにより複数のプロバイダーなどと接続する場合、ProxyDNS 機能を使用すると正しくルーティングされないことがあります。

アドレス変換設定

アドレス変換設定では、アドレス変換に関する設定を行います。NAT 設定および静的 NAT 設定を行うことができます。

■ NAT 設定

WAN インターフェース設定（IP 固定設定を除く）ごとにグローバル IP アドレスとローカル IP アドレスのアドレス変換方式、アドレス変換テーブルを設定します。IP アドレス変換方式では、グローバル IP アドレスとローカル IP アドレスを変換する方式を選択します。IP アドレス変換テーブルでは、IP アドレスを静的に変換するテーブルを設定します。IP アドレス変換テーブルは、各 WAN インターフェースごとに最大 16 個まで設定できます。「NAT 設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「アドレス変換」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
インターフェース名	WAN インターフェース設定で設定した名称が表示される。(●P21)	—	WAN1 / WAN2 / WAN3 / WAN5
IP アドレス変換方式※	IP アドレスの変換方式を選択する。	しない / LAN 型変換 / 端末型変換	WAN1 のみ 端末型変換
割り当てられた IP アドレス※	IP アドレス変換方式で「LAN 型変換」を選択した場合、本商品が使用するグローバル IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255, 10 進数)	—
IP アドレス変換テーブル※	グローバル IP アドレスとローカル IP アドレスの変換を設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255, 10 進数)	—

※変更した設定は、次の接続時に有効となります。

1 IP アドレス変換方式

プロバイダーとの契約内容に応じて、IP アドレス変換方式を選択します。

LAN 型変換 : グローバル IP アドレスをプロバイダー契約時に割り当てられるとき

端末型変換 : グローバル IP アドレスをプロバイダー接続時に割り当てられるとき

お知らせ

- IP アドレス変換方式「しない」を選択した場合は、以下の設定は無効となります。
- UPnP 機能 (CP) 設定で「有効」を選択した場合、WAN4/WAN5 インターフェースに対しての本設定を「しない」以外にすることはできません。

2 割り当てられた IP アドレス

LAN 型変換時にプロバイダーから割り当てられたグローバル IP アドレスを入力します。

お知らせ

- IP アドレス変換方式「LAN 型変換」を選択した場合のみ有効です。

3 IP アドレス変換テーブル

LAN 型変換時にプロバイダーから割り当てられたグローバル IP アドレスと対応して変換させるローカル IP アドレスを入力します。

お知らせ

- IP アドレス変換方式「LAN 型変換」を選択した場合のみ有効です。

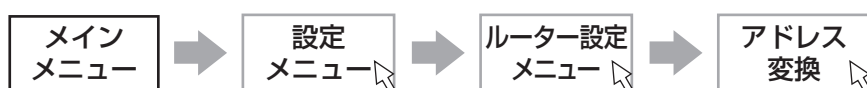
4 「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ったあと、WAN インターフェースに対する停止→起動の操作 (●P54) により、接続し直してください。

■静的 NAPT 設定

外部からのコネクション確立が必要なサービスを利用する場合、IP アドレス変換機能によりコネクションの確立ができない場合があります。このようなときは、外部からのコネクション確立が必要なサービスに対して、静的 NAPT 設定に TCP/UDP プロトコル、およびポート番号から内部のローカル IP アドレスへの変換を行うように設定することで、外部からのコネクションを確立することができます。本商品に最大 16 個まで設定することができ、すべての WAN インターフェースに適用されます。

「静的 NAPT 設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「アドレス変換」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
プロトコル	変換するプロトコルを選択する。	TCP / UDP / TCP/UDP	TCP
開始ポート番号	TCP または UDP の開始ポート番号を設定する。	0 ~ 65535、10 進数	—
終了ポート番号	TCP または UDP の終了ポート番号を設定する。	0 ~ 65535、10 進数	—
IP アドレス	上記のプロトコルおよびポート番号と一致したパケットに対してアドレス変換を行うローカル IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255、10 進数)	—



お知らせ

- 変換先のローカル IP アドレスは固定で設定する必要があるため、DHCP サーバー機能を利用しているときは、必ず「固定割り付けテーブル」でローカル IP アドレスを固定して割り付けるように設定してください。

■静的 NAPT テーブルを設定するには

●新規に登録する場合

- 1 ルーター設定メニューで「アドレス変換」をクリックし、「新規」ボタンをクリックします。
- 2 「静的 NAPT 設定」画面が表示されるので、各項目の入力を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。

入力した内容が新規登録され、静的 NAPT テーブルに追加されます。

■設定を有効にするために設定データ保存 (P50) を行ってください。

●変更する場合

- 1 ルーター設定メニューで「アドレス変換」をクリックし、静的 NAPT テーブルの「No.」欄の変更したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 「静的 NAPT 設定」画面が表示されるので、変更を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。

変更した内容が静的 NAPT テーブルに表示されます。

■設定を有効にするために設定データ保存 (P50) を行ってください。

●削除する場合

- 1 ルーター設定メニューで「アドレス変換」をクリックし、静的 NAPT テーブルの「No.」欄の削除したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 「静的 NAPT 設定」画面が表示されるので、確認します。
- 3 「削除」ボタンをクリックします。

「削除」ボタンをクリックすると、「この設定を削除します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。

- 4 確認メッセージに対して「OK」ボタンをクリックします。

テーブルの削除が反映された静的 NAPT テーブルが表示されます。

■設定を有効にするために設定データ保存 (P50) を行ってください。

1 プロトコル

プロトコルを選択します。

2 開始ポート番号と終了ポート番号

開始ポート番号と終了ポート番号を入力します。

STOP お願い

- 開始ポート番号および終了ポート番号の設定は、他の機能で利用しているポート番号が含まれるような設定を行わないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

3 IP アドレス

IP アドレスを入力します。

4 「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (P50) を行ってください。

ルーティング設定

ルーティング設定では、登録された IP アドレスによるルーティングの設定を行います。ルーティング用テーブルは、デフォルトルート 1 個、スタティック IP ルーティングを 16 個、ソースルーティングを 4 個、ドメインルーティングを 8 個まで設定することができます。ルーティングは、スタティック IP ルーティング、ドメインルーティング、ソースルーティング、デフォルトルートの順で行われます。

「ルーティング設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「ルーティング」をクリックします。



●デフォルトルート設定

名称	説明	設定範囲	初期設定
ルーター機能	ルーティングを行うかどうかを選択する。	無効/有効	有効
ダイナミックルーティング機能※	動的（ダイナミック）ルーティングを行うかどうかを選択する。	無効/有効	無効
ルーティング情報送 出※	ルーティング情報を LAN インターフェース側に送出するかどうかを選択する。	無効/有効	無効
経路先	デフォルトルートとなる経路先の指定方法として IP アドレスまたはインターフェースのどちらを指定するかを選択する。	なし/固定 IP アドレス/ LAN1 / WAN1 / WAN2 / WAN3 / WAN4 / WAN5	WAN1
経路先 IP アドレス	経路先の IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255, 10 進数)	—
ホップ数	経路先との距離（コスト/ホップ数）を設定する。	1 ~ 16, 10 進数	1

※変更した設定は、次の接続時に有効となります。

●スタティック IP ルーティング設定（最大 16 個）

名称	説明	設定範囲	初期設定
IP アドレス	ルーティングする送信先 IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255, 10 進数)	—
サブネットマスク	ルーティングする送信先 IP アドレスのサブネットマスクのビット数を設定する。	1 ~ 32, 10 進数 (bit)	—
経路先	経路先の指定方法として IP アドレスまたはインターフェースのどちらを指定するかを選択する。	固定 IP アドレス/ LAN1 / WAN1 / WAN2 / WAN3 / WAN4 / WAN5	固定 IP アドレス
経路先 IP アドレス	経路先の IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255, 10 進数)	—
ホップ数	経路先との距離（コスト/ホップ数）を設定する。	1 ~ 16, 10 進数	—

●ソースルーティング設定（最大 4 個）

名称	説明	設定範囲	初期設定
IP アドレス	ルーティングする送信元 IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255, 10 進数)	—
サブネットマスク	ルーティングする送信元 IP アドレスのサブネットマスクのビット数を設定する。	1 ~ 32, 10 進数 (bit)	—
経路先	経路先の指定方法として IP アドレスまたはインターフェースのどちらを指定するかを選択する。	固定 IP アドレス/ LAN1 / WAN1 / WAN2 / WAN3 / WAN4 / WAN5	固定 IP アドレス
経路先 IP アドレス	経路先の IP アドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0 ~ 255, 10 進数)	—
ホップ数	経路先との距離（コスト/ホップ数）を設定する。	1 ~ 16, 10 進数	—

●ドメインルーティング設定（最大 8 個）

名称	説明	設定範囲	初期設定
ドメイン名	ルーティングを対象とするドメイン名を設定する。	最大 128 文字（制御コード、スペースを除く ASCII 文字）	—
経路先	経路先を選択する。	LAN1 / WAN1 / WAN2 / WAN3 / WAN4 / WAN5	LAN1
DNS サーバーアドレス	ドメイン名の問い合わせを行う DNS サーバーアドレスを設定する。	X.X.X.X (X:0~255、10 進数)	—
ホップ数	経路先と距離（コスト/ホップ数）を設定する。	1 ~ 16、10 進数	—

■ルーティング設定を行うには

●デフォルトルートを設定する場合

- 1 ルーター設定メニューで「ルーティング」をクリックします。
- 2 「ルーティング設定」画面が表示されるので、各項目の入力を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。
 - 設定を有効にするために設定データ保存（●P50）を行ってください。

●スタティック IP ルーティング/ソースルーティング/ドメインルーティングを新規に登録する場合

- 1 ルーター設定メニューで「ルーティング」をクリックし、登録したいルーティングの「新規」ボタンをクリックします。
- 2 設定画面が表示されるので、各項目の入力を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。
 - 入力した内容が新規登録され、ルーティングテーブルに追加されます。
 - 設定を有効にするために設定データ保存（●P50）を行ってください。

●スタティック IP ルーティング/ソースルーティング/ドメインルーティングを変更する場合

- 1 ルーター設定メニューで「ルーティング」をクリックし、ルーティングテーブルの「No.」欄の変更したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 設定画面が表示されるので、変更を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。
 - 変更した内容がルーティングテーブルに表示されます。
 - 設定を有効にするために設定データ保存（●P50）を行ってください。

●スタティック IP ルーティング/ソースルーティング/ドメインルーティングを削除する場合

- 1 ルーター設定メニューで「ルーティング」をクリックし、ルーティングテーブルの「No.」欄の削除したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 設定画面が表示されるので、確認します。
- 3 「削除」ボタンをクリックします。
 - 「削除」ボタンをクリックすると、「この設定を削除します。よろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。
- 4 確認メッセージに対して「OK」ボタンをクリックします。
 - テーブルの削除が反映されたルーティングテーブルが表示されます。
 - 設定を有効にするために設定データ保存（●P50）を行ってください。



お知らせ

- 設定の詳細については、次ページ以降の「デフォルトルートの場合」、「スタティック IP ルーティングの場合」、「ソースルーティングの場合」、「ドメインルーティングの場合」をご覧ください。

■デフォルトルートの場合

1

ルーター機能

ルーター機能を有効にするかどうかを選択します。



お知らせ

- ルーター機能「無効」を選択した場合は、以下の設定およびスタティックIPルーティング/ソースルーティング/ドメインルーティングの設定は無効になります。
- UPnP機能（CP）設定で「有効」を選択した場合、本設定を「有効」にすることはできません。

2

ダイナミックルーティング機能

ダイナミックルーティング機能を有効にするかどうかを選択します。

3

ルーティング情報送出

ルーティング情報送出を有効にするかどうかを選択します。



お知らせ

- ダイナミックルーティング機能「有効」を選択した場合のみ有効です。

4

経路先

- ・経路先を選択します。
- ・他のルーティング設定でルーティングされなかったパケットは、ここで選択した経路先へルーティングされます。

5

経路先 IP アドレス

経路先を「固定 IP アドレス」に設定した場合は、経路先 IP アドレスを入力します。



お知らせ

- 経路先 IP アドレスの設定は、経路先を「固定 IP アドレス」に設定した場合のみ有効です。

6

ホップ数

ホップ数を入力します。

7

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存（P50）を行ってください。なお、ダイナミックルーティング機能、ルーティング情報送出の設定を変更した場合は、WAN インターフェースに対する停止→起動の操作（P54）により、接続し直してください。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

■スタティック IP ルーティングの場合

1

IP アドレス

- ルーティングを行う送信先 IP アドレスを入力します。
- ここで設定した送信先 IP アドレスあての packets を本商品が受信すると、「経路先」で設定したインターフェースへルーティングします。

2

サブネットマスク

ルーティングを行う送信先 IP アドレスのサブネットマスクのビット数を入力します。

3

経路先

経路先を選択します。

4

経路先 IP アドレス

経路先を「固定 IP アドレス」に設定した場合は、経路先 IP アドレスを入力します。



お知らせ

- 経路先 IP アドレスの設定は、経路先を「固定 IP アドレス」に設定した場合のみ有効です。

5

ホップ数

ホップ数を入力します。

6

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (P50) を行ってください。

■ソースルーティングの場合

1

IP アドレス

- ルーティングを行う送信元 IP アドレスを入力します。
- ここで設定した送信元 IP アドレスからのパケットを本商品が受信すると、「経路先」で設定したインターフェースへルーティングします。パソコンごとに、利用するプロバイダーなどを変更することなどができます。

2

サブネットマスク

ルーティングを行う送信元 IP アドレスのサブネットマスクのビット数を入力します。

3

経路先

経路先を選択します。

4

経路先 IP アドレス

経路先を「固定 IP アドレス」に設定した場合は、経路先 IP アドレスを入力します。



お知らせ

- 経路先 IP アドレスの設定は、経路先を「固定 IP アドレス」に設定した場合のみ有効です。

5

ホップ数

ホップ数を入力します。

6

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ってください。



お知らせ

- ソースルーティングにより複数のプロバイダーなどと接続する場合、ProxyDNS 機能を使用すると正しくルーティングされないことがあります。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

■ドメインルーティングの場合

1

ドメイン名

ルーティングの対象とするドメイン名を入力します。

2

経路先

経路先を選択します。

3

DNS サーバーアドレス

ドメイン名の問い合わせを行う DNS サーバーアドレスを入力します。

4

ホップ数

ホップ数を入力します。

5

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ってください。



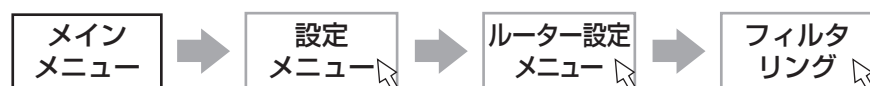
お知らせ

- お使いのパソコンが本商品の ProxyDNS 機能を利用しない場合は、ドメインルーティングがご利用になれません。
- お使いのパソコンや本商品に DNS 問い合わせ結果が保存されている場合は、ドメインルーティングが正常に動作しないことがあります。このような場合は、以下の操作により DNS 問い合わせ結果をクリアしてください。
 - パソコンを再起動する
 - 本商品の DNS キャッシュテーブルをクリアする (●P56)

フィルタリング設定

フィルタリング設定では、すべてのインターフェース／LAN／WAN に対して設定することができます。あらかじめ登録しておいた最大 32 個のフィルタリング設定から選択します。フィルタリングは、送信先 IP アドレス、送信元 IP アドレス、プロトコル ID、送信先ポート、送信元ポート、TCP コネクションフラグごとに設定することができます。またフィルタリングするパケットの方向、およびフィルタリングの設定内容と一致した場合の動作の設定を行います。

「フィルタリング設定」画面を表示するには、ルーター設定メニューで「フィルタリング」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
送信先 IP アドレス	フィルタリングするパケットの送信先 IP アドレスを設定する。 送信先 IP アドレス指定「する」を選択した場合は、送信先 IP アドレス (X.X.X.X、X : 0 ~ 255、10 進数) とサブネットマスクのビット数 (1 ~ 32) を設定する。	しない／する	しない
送信元 IP アドレス	フィルタリングするパケットの送信元 IP アドレスを設定する。 送信元 IP アドレス指定「する」を選択した場合は、送信元 IP アドレス (X.X.X.X、X : 0 ~ 255、10 進数) とサブネットマスクのビット数 (1 ~ 32) を設定する。	しない／する	しない
プロトコル ID	フィルタリングするパケットのプロトコル ID を設定する。 「その他」を選択した場合は、プロトコル ID (0 ~ 255) を設定する。	しない／TCP／UDP／その他	しない
送信先ポート	フィルタリングするパケットの送信先ポートを設定する。 「その他」を選択した場合は、以下のように送信先ポートの範囲指定 (X) を設定する。 ・プロトコル ID : TCP / UDP / TCP/UDP ・範囲設定 : ポート番号 = X (一致) : ポート番号 > X (小さい) : ポート番号 < X (大きい) : ポート番号 < X < ポート番号 (範囲) ※ポート番号は、0 ~ 65535 の範囲で設定する。	しない／FTP／TELNET／DNS／GOPHER／HTTP／HTTPS／POP3／NetBIOS／SNMP／SMTP／NNTP／NTP／その他	しない
送信元ポート	フィルタリングするパケットの送信元ポートを設定する。 「その他」を選択した場合は、以下のように送信元ポートの範囲指定 (X) を設定する。 ・プロトコル ID : TCP / UDP / TCP/UDP ・範囲設定 : ポート番号 = X (一致) : ポート番号 > X (小さい) : ポート番号 < X (大きい) : ポート番号 < X < ポート番号 (範囲) ※ポート番号は、0 ~ 65535 の範囲で設定する。	しない／FTP／TELNET／DNS／GOPHER／HTTP／HTTPS／POP3／NetBIOS／SNMP／SMTP／NNTP／NTP／その他	しない
TCP コネクションフラグ	TCP コネクションフラグによるフィルタリングを設定する。	FIN / SYN / RST / PSH / ACK / URG	—
フィルタリング方向	フィルタリングするパケットの方向を選択する。	双方向 / 受信 / 送信	双方向
フィルタリング種別	設定内容と一致した場合の動作を選択する。	フィルタリング / フォワーディング	フィルタリング
フィルタリング設定テーブル	全てのインターフェース / LAN1 / WAN1 ~ WAN5 に対して、設定したフィルタリングを行うかどうかを設定する。	全てのインターフェース / LAN1 / WAN1 ~ WAN5	—

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

■フィルタリング設定をするには**●新規に登録する場合**

- 1 ルーター設定メニューで「フィルタリング」をクリックし、「新規」ボタンをクリックします。
- 2 「フィルタリング設定」画面が表示されるので、各項目の入力を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。

入力した内容が新規登録され、フィルタリング設定テーブルに追加されます。

■設定を有効にするために設定データ保存（P50）を行ってください。

●変更する場合

- 1 ルーター設定メニューで「フィルタリング」をクリックし、フィルタリング設定テーブルの「No.」欄の変更したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 「フィルタリング設定」画面が表示されるので、変更を行います。
- 3 「設定」ボタンをクリックします。

変更した内容がフィルタリング設定テーブルに表示されます。

■設定を有効にするために設定データ保存（P50）を行ってください。

●削除する場合

- 1 ルーター設定メニューで「フィルタリング」をクリックし、フィルタリング設定テーブルの「No.」欄の削除したいテーブルの数字をクリックします。
- 2 「フィルタリング設定」画面が表示されるので、確認します。
- 3 「削除」ボタンをクリックします。

「削除」ボタンをクリックすると、「この設定を削除します。よろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。

- 4 確認メッセージに対して「OK」ボタンをクリックします。

テーブルの削除が反映されたフィルタリング設定テーブルが表示されます。

■設定を有効にするために設定データ保存（P50）を行ってください。

送信先 IP アドレス

- ・送信先 IP アドレス指定をするかどうかを選択します。
- ・送信先 IP アドレス指定「する」を選択した場合は、送信先 IP アドレスとサブネットマスクのビット数を入力します。

1

**お知らせ**

- 送信先 IP アドレス指定「しない」を選択した場合、すべての送信先 IP アドレスがフィルタリング設定の対象となります。

送信元 IP アドレス

- ・送信元 IP アドレス指定をするかどうかを選択します。
- ・送信元 IP アドレス指定「する」を選択した場合は、送信元 IP アドレスとサブネットマスクのビット数を入力します。

2

**お知らせ**

- 送信元 IP アドレス指定「しない」を選択した場合、すべての送信元 IP アドレスがフィルタリング設定の対象となります。

3

プロトコル ID

- プロトコル ID 指定を選択します。
- プロトコル ID 指定「その他」を選択した場合は、プロトコル ID を入力します。



お知らせ

- プロトコル ID 指定「しない」を選択した場合、すべてのプロトコル ID がフィルタリング設定の対象となります。

4

送信先ポート

- 送信先ポート指定を選択します。
- 送信先ポート指定「その他」を選択した場合は、プロトコル ID と送信先ポート範囲を選択します。



お知らせ

- 送信先ポート指定「しない」を選択した場合、すべての送信先ポートがフィルタリング設定の対象となります。
- 送信先ポート指定「その他」、送信先ポート範囲「< X <」を選択した場合は、「< X <」の前後の入力欄はともに入力してください。

5

送信元ポート

- 送信元ポート指定を選択します。
- 送信元ポート指定「その他」を選択した場合、プロトコル ID と送信元ポート範囲を選択します。



お知らせ

- 送信元ポート指定「しない」を選択した場合、すべての送信元ポートがフィルタリング設定の対象となります。
- 送信元ポート指定「その他」、送信元ポート範囲「< X <」を選択した場合は、「< X <」の前後の入力欄はともに入力してください。

(次ページへつづく)

6

TCP コネクションフラグ

フィルタリングする TCP コネクションフラグを選択します。



お知らせ

- 複数選択した場合は、チェックしたすべてのフラグに一致したパケットを、一致と判断します。

7

フィルタリング方向

フィルタリング方向を選択します。

8

フィルタリング種別

フィルタリング種別を選択します。



ワンポイント

●フィルタリング種別について

フィルタリング設定テーブルのフィルタリング種別について以下に示します。テーブルの検索も以下の順番により行われます。

- ①フォワーディング：条件に一致したパケットはすべてフォワーディング（通過）します。
- ②フィルタリング：条件に一致したパケットをフィルタリング（破棄）します。

フィルタリング設定テーブルで複数のフィルタリング設定を選択した場合は、フィルタリング種別が「フォワーディング」、「フィルタリング」の順番に検索を行います。
※なお、いずれの設定にも一致しないパケットについてはすべてフォワーディングされます。

9

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存（P50）を行ってください。



お知らせ

- フィルタリングのお買い求め時の設定は、LAN インターフェースに対して NetBIOS / DCE 準拠 RPC / ダイレクト・ホスティング SMB サービスのフィルタが設定されています。

パスワードを設定するには

Web ブラウザーからの設定を行うためのパスワードを設定します。
「パスワード設定」画面を表示するには、設定メニューで「一般設定」をクリックします。



名称	説明	設定範囲
古いパスワード	現在設定されているパスワードを入力する。	最大 16 文字 (半角文字) (A~Z、a~z、0~9、-、/、_)
新しいパスワード	新しく設定するパスワードを入力する。	最大 16 文字 (半角文字) (A~Z、a~z、0~9、-、/、_)
確認	新しいパスワードを確認のため再入力する。	最大 16 文字 (半角文字) (A~Z、a~z、0~9、-、/、_)

1 古いパスワード

古いパスワードを入力します。

2 新しいパスワード

新しいパスワードを入力します。

3 確認

確認のため新しいパスワードを再入力します。

お知らせ

- Web ブラウザーからの設定を行うためには、必ずパスワードを設定してください。パスワードは、最大 16 文字の範囲で設定します。

4 「設定」 ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ってください。

お知らせ

- 設定データ保存を行ったとき認証画面が表示されますので、変更した新しいパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。その後、表示された画面の「OK」ボタンをクリックしてください。
- お買い求め時は、パスワードは「user」が設定されています。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

自動バージョンアップ設定

自動バージョンアップ機能とは、本商品が定期的に当社サーバーと通信を行い、最新ファームウェアを確認した場合に自動的にバージョンアップまたはお客様へ通知する機能です。ファームウェアとは本商品を動かすプログラム（ソフトウェア）のことで、次の2種類のファームウェアがあります。

- 通常ファームウェア：機能・性能を向上したファームウェア
- 重要ファームウェア：特に重要な機能・性能を向上させたファームウェア

それぞれについてのバージョンアップの動作（方法）を、「通常ファームウェア更新方法」、「重要ファームウェア更新方法」で設定します。

「自動バージョンアップ設定」画面を表示するには、設定メニューで「自動バージョンアップ設定」をクリックします。



名称	説明	設定範囲	初期設定
通常ファームウェア更新方法	通常ファームウェアに対する動作を選択する。	無効／ユーザー通知 ／自動更新	無効
重要ファームウェア更新方法	重要ファームウェアに対する動作を選択する。	無効／ユーザー通知 ／自動更新	自動更新
自動更新時刻	自動更新の場合にバージョンアップを行う時刻を設定する。	00:00～23:59	登録なし
バージョンアップお知らせ用 URL	バージョンアップお知らせ用サーバーのアドレスを設定する。	半角英数字記号128文字	http://www.cpeinfo.jp/



お知らせ

- 自動バージョンアップ機能を利用するには、サービスプロバイダーへのインターネット接続サービスのお申し込みが必要となります。

通常ファームウェア更新方法

インターネット上のサーバーに通常ファームウェアがある場合の動作を選択します。



ワンポイント

1

●更新方法について

自動バージョンアップ機能の更新方法について以下に示します。

- ①無効：何もしません。
- ②ユーザー通知：本商品の Web ブラウザトップ画面、プログラムバージョンアップの自動バージョンアップ状態表示により更新プログラムがあることを確認することができます。Web ブラウザからの操作によりダウンロード／更新を行い、再起動を実行後にプログラムが有効となります。（●P61）
- ③自動更新：自動更新時刻に設定された時刻（設定されていない場合は AM2:00 + 1～60 分のランダム時間）にダウンロード／更新を行い、IP 電話サービスによる通話をしていないときに自動的に再起動します。

重要ファームウェア更新方法

インターネット上のサーバーに重要ファームウェアがある場合の動作を選択します。

2



お知らせ

- 重要ファームウェアのバージョンアップを行わない場合、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

自動更新時刻

更新方法が自動更新の場合に、自動的にダウンロードを行う時刻を設定します。

設定されていない場合は AM2:00 + 1 ~ 60 分のランダム時間にダウンロードを行います。

3



お知らせ

- 自動更新時刻の前に、お客様が手動でバージョンアップを行うこともできます。

バージョンアップお知らせ用 URL

インターネット上のサーバーの URL を設定します。

4



お願い

- 初期値のままご利用ください。変更すると自動バージョンアップ機能をご利用できなくなります。

「設定」ボタンをクリックします。

設定を有効にするために「設定」ボタンをクリックし、設定データ保存 (●P50) を行ったあと、本商品の再起動 (●P60) を行ってください。

5



お願い

- バージョンアップ中は、絶対に下記の操作を行わないでください。故障の原因となることがあります。
 - *本商品を再起動する。
 - *本商品の「WAN インターフェースの停止」をする。
 - *主装置の電源を切る。
 - *パソコンの電源を切る。

設定データを保存するには

設定データを変更した場合は、必ず設定データ保存を行ってください。
設定データ保存を行うまで、変更されたデータは本商品に保存されません。



1

設定メニューで「設定データ保存」をクリックします。

設定データ保存の確認画面が表示されます。

2

「OK」ボタンをクリックします。

すべての設定データを本商品へ保存します。

設定データを初期化するには

設定データの初期化は、設定データを工場出荷時の初期値に戻します。



1 メインメニューで「設定メニュー」をクリックします。
設定メニューが表示されます。

2 設定メニューで「設定データ初期化」をクリックします。
設定データ初期化の確認画面が表示されます。

3 「OK」ボタンをクリックします。
設定データ初期化結果画面が表示されます。

1
前に
お使いになる

2
前に
設定をする

3
接続する

4
行う
データ設定を

5
運用する

6
主な設定例

7
ご参考に



ワンポイント

- 設定データの初期化を実行しても、本商品には以前の設定データが残っていますので、設定データの保存を行わずに再起動すると以前の設定データにより動作します。

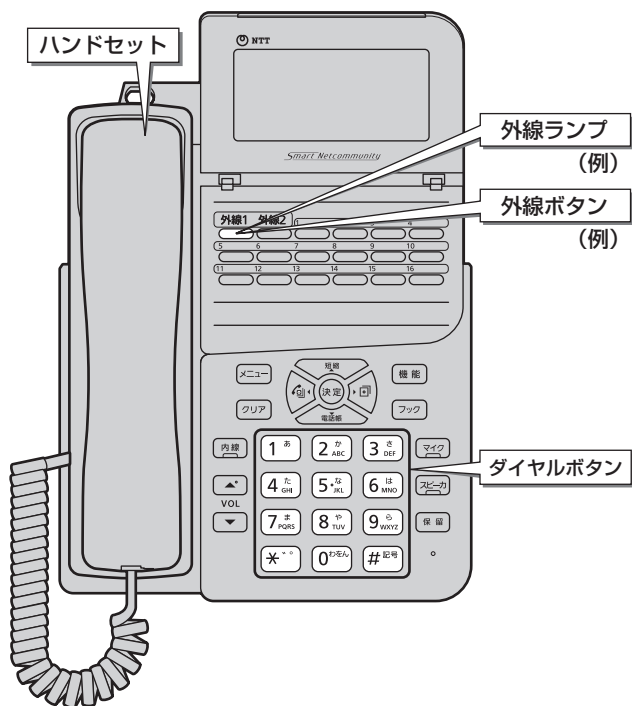


お知らせ

- 設定を有効にするために設定データ保存 (P50) を行ったあと、本商品の再起動 (P60) を行ってください。
- 認証画面が表示される場合がありますので、パスワードに「user」を入力し「OK」ボタンをクリックしてください。

IP 電話サービスをお使いになるには

内線電話機で IP 電話サービスをご利用になる場合は、以下の操作を行ってください。



■電話をかける（発信）

- 1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。
- 2 ハンドセットを取りあげます。
- 3 電話番号をダイヤルボタンで押しします。
- 4 相手の方が出たら、お話しください。
- 5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

■電話を受ける（着信）

- 1 着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。
- 2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。
- 3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



ワンポイント

●相手先に自分の電話番号が通知される条件について
IP 電話サービスを利用して電話をかけた場合には、下記のような条件により相手先に発信者番号が通知されます。
(2021年1月現在)

本商品の「発信者番号通知」の設定	ダイヤル操作		
	相手の方の電話番号（通常の操作）	「184」+相手の方の電話番号	「186」+相手の方の電話番号
する	IP 電話番号を通知可能(※)	通知しない	IP 電話番号を通知可能(※)
しない	通知しない	通知しない	IP 電話番号を通知可能(※)

※発信者番号の通知可否はご契約の IP 電話サービスによります。



お知らせ

- IP 電話サービスをご利用になるには、プロバイダーなどとの IP 電話サービス契約が必要です。
- 回線の状況によっては、通話品質が劣化する場合があります。

運用時に利用できる操作

●運用時に利用できる操作は以下のとおりです。

- WAN / VoIP の起動・停止 (●P54)
- レポート表示 (動作状態、統計情報など) (●P55)
- 設定一覧表示 (●P59)
- 再起動 (●P60)

●運用までの操作の流れは以下のとおりです。

- パソコンからの入力は、ASCII 文字のみですので、シフト JIS (漢字、ひらがな、カナ) は入力しないでください。

1 パソコンの Web ブラウザーを起動します。

使用する Web ブラウザーは以下のものを推奨します。
 Windows 10 : Internet Explorer 11.0、Chromium 版 Edge
 Windows 8.1 : Internet Explorer 11.0
 (2021 年 1 月現在)

2 Web ブラウザーの「アドレス」に本商品の IP アドレスを入力し、「Enter」キーを押します。

本商品の LAN インターフェースに対して設定した IP アドレスを入力してください。
 お買い求め時の本商品の IP アドレスは「192.168.1.1」です。
 認証画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

4 メインメニューから各操作を行います。

操作方法は各項目を参照してください。



お知らせ

- 手順 3 でユーザー名は入力しないでください。入力した場合ログインできません。
- 認証画面で「パスワードを保存する」のチェックボックスをチェックしても、入力したパスワードはパソコンに保存されません。次回、本商品にログインする場合は、再びパスワードを入力する必要があります。
- JavaScript の設定は、必ず「有効」にしてご利用ください。

1
前に
お使いになる2
前に
設定をする3
接続する4
行う
データ設定を5
運用する6
主な設定例7
ご参考に

WAN インターフェースを手動操作することにより、起動・停止することができます。



1

メインメニューで「レポート表示」をクリックします。

レポート表示メニューが表示されます。

2

レポート表示メニューで「インターフェース状態表示」をクリックします。

LAN インターフェース状態、WAN インターフェース状態が表示されます。

3

WAN インターフェースの「起動」または「停止」ボタンをクリックします。

「起動」：WAN に接続します。

「停止」：WAN との通信を停止します。



お知らせ

- 「停止」ボタンにより WAN との通信を停止した場合は、通話中の IP 電話サービスは切断されます。
- 停止中は、IP 電話サービスでの発信・着信はご利用になれません。「起動」ボタンをクリックして、WAN に接続してください。



1 メインメニューで「レポート表示」をクリックします。

レポート表示メニューが表示されます。

2

表示する項目を選択します。

表示したい項目をメニューの中から選択してください。

- インターフェース状態表示 : インターフェースの状態を表示します。
- パケット統計情報表示 : 各インターフェースの送受信パケット数を表示します。
- ARP テーブル表示 : ARP テーブルの登録内容を表示します。
- DNS キャッシュテーブル表示 : DNS キャッシュテーブルの登録内容を表示します。
- IP ルーティング情報表示 : ルーティング情報を表示します。
- DHCP 割り付け状態表示 : DHCP サーバー機能による IP アドレス割り付け状態を表示します。
- ログ表示 : 本商品の動作履歴を表示します。

インターフェース状態を表示する場合

インターフェースの状態を表示します。

1

レポート表示メニューで「インターフェース状態表示」をクリックします。

LAN インターフェース状態、WAN インターフェース状態が表示されます。

「LAN インターフェース状態」: LAN の状態を表示します。

「WAN インターフェース状態」: WAN の状態を表示します。

「起動」 / 「停止」 ボタン : WAN / VoIP の起動・停止を操作することができます。(P54)

パケット統計情報を表示する場合

各インターフェースの送受信パケット数を表示します。

1

レポート表示メニューで「パケット統計情報表示」をクリックします。

LAN および WAN の統計情報が表示されます。

「累計」: インターフェースで送信／受信したパケット数

「失敗」: 送信／受信でエラーが発生したパケット数

「破棄」: バッファ不足により受信できなかったパケット数



お知らせ

- 「クリア」 ボタンをクリックすると、すべてのパケット統計情報をクリアします。
- 「失敗」や「破棄」の値が多い場合は、ネットワークのトラヒックが異常に高くなっている可能性があります。
- 統計情報は本商品を再起動するとクリアされます。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

ARP テーブルを表示する場合

ARP テーブルの登録内容を表示します。

1

レポート表示メニューで「ARP テーブル表示」をクリックします。

IP アドレス、MAC アドレス、生存時間の対応表が表示されます。



お知らせ

- ARP テーブルは本商品を再起動するとクリアされます。

DNS キャッシュテーブルを表示する場合

DNS キャッシュテーブルの登録内容を表示します。

1

レポート表示メニューで「DNS キャッシュテーブル表示」をクリックします。

ドメイン名と IP アドレスが表示されます。



お知らせ

- 「クリア」 ボタンをクリックすると、DNS キャッシュテーブルの情報がクリアされます。
- DNS キャッシュテーブルは本商品を再起動するとクリアされます。

IP ルーティング情報を表示する場合

ルーティング情報を表示します。

1

レポート表示メニューで「IP ルーティング情報表示」をクリックします。

インターフェース IP ルーティング情報、スタティック IP ルーティング情報、および学習したダイナミック IP ルーティング情報が表示されます。

DHCP 割り付け状態を表示する場合

DHCP サーバー機能による IP アドレス割り付け状態を表示します。

1

レポート表示メニューで「DHCP 割り付け状態表示」をクリックします。

IP アドレス割り付け状態が表示されます。

「削除」ボタンをクリックすることにより、選択した IP アドレス割り付けを削除します。使用されていない IP アドレスを削除することにより、再度割り付けが可能になります。

「保存」ボタンをクリックすることにより、IP アドレス割り付け情報を本商品へ保存します。本商品を再起動しても以前割り付けられた IP アドレスを再び割り付けることができます。

1
前に
お使いになる

2
前に
設定をする

3
接続する

4
行う
データ設定を

5
運用する

6
主な設定例

7
ご参考に

ログを表示する場合

本商品の動作履歴を表示します。

レポート表示メニューで「ログ表示」をクリックします。

- 本商品の動作履歴が表示されます。(最大 128 行)
- 画面表示される主な情報は次のとおりです。

PPPoe Start < インターフェース名 >	: PPPoE の接続が開始されたことを表します。
PPPoe Opened	: PPPoE のセッションが確立し通信状態となったことを表します。
PPPoe Send Terminate	: PPPoE の切断が開始されたことを表します。
PPPoe Closed	: PPPoE の切断が終了したことを表します。
LCP 確立手順開始	: LCP 確立のネゴシエーションを開始したことを表します。
LCP 手順確立	: LCP 確立のネゴシエーションが完了したことを表します。
LCP 完了手順開始	: LCP 完了のネゴシエーションを開始したことを表します。
認証開始	: 認証 (PAP/CHAP) のネゴシエーションを開始したことを表します。
認証成功	: 認証が成功したことを表します。
認証失敗	: 認証が失敗したことを表します。
IPCP 確立手順開始	: IPCP 確立のネゴシエーションを開始したことを表します。
IPCP 手順確立	: IPCP 確立のネゴシエーションが完了したことを表します。
IPCP 完了手順開始	: IPCP 完了のネゴシエーションを開始したことを表します。
サーバ登録完了 [IP 電話番号]	: REGISTER サーバーへの登録が成功したことを表します。
サーバ登録失敗 [IP 電話番号]	: REGISTER サーバーへの登録に失敗したことを表します。
サーバ登録解除 [IP 電話番号]	: REGISTER サーバーへの登録を解除したことを表します。

1

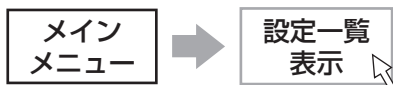


お知らせ

- 「クリア」 ボタンをクリックするとすべてのログ情報をクリアします。
- ログ表示は本商品を再起動するとクリアされます。
- 接続シーケンスによっては、一部ログが表示されないことがあります。
- その他のログについては、工事担当者にお問い合わせください。

設定一覧表示を行うには

設定されているデータを一覧表示します。



1

メインメニューで「設定一覧表示」をクリックします。

設定されているデータが一覧表示されます。
画面表示される情報は次のとおりです。

- インターフェース設定
- DHCP サーバー設定
- DNS 設定
- アドレス変換設定
- ルーティング設定
- フィルタリング設定
- 自動バージョンアップ設定
- VoIP 設定

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

再起動を行うには

本商品の設定を変更したあとに再起動を行うことで、設定内容を反映することができます。



1

メインメニューで「再起動」をクリックします。

再起動の確認画面が表示されます。

2

「OK」ボタンをクリックします。

本商品が再起動されます。



お知らせ

- 再起動した場合、以下のことに注意してください。
 - ルーターの機能をご利用の場合は、データ通信が切断されます。
 - 通話中の場合は、通話が切断されます。
- 再起動後、Web ブラウザーからの設定を行う場合には、約 30 秒以上経過後に行ってください。
- 本商品を再起動したときは、DHCP サーバーを利用しているパソコンを再起動してください。

本商品は、最新のプログラムをダウンロードしてバージョンアップすることができます。バージョンアップには、自動バージョンアップとローカルバージョンアップの2種類が用意されています。

自動バージョンアップ

当社サーバーから本商品のファームウェアを自動的にダウンロードする機能です。自動バージョンアップは、Web ブラウザーからの操作により手動で行うこともできます。

■手動更新の手順

1 メインメニューで「プログラムバージョンアップ」をクリックします。

バージョンアップメニューが表示されます。

2 バージョンアップメニューで「自動バージョンアップ状態表示」をクリックします。

自動バージョンアップ状態表示画面が表示されます。

自動バージョンアップ状態表示画面で「手動更新」をクリックします。

3 更新チェックが実行され結果が表示されます。

- 新しいファームウェアがある場合は、「新しい更新があります。」と表示されます。
- 新しいファームウェアがない場合は、「新しい更新はありません。」と表示されます。
- サーバーとの通信にエラーが発生した場合は、「更新チェックタイムアウト」と表示されます。

4 「新しい更新があります。」画面で「更新内容」をクリックします。

更新内容が表示されるので、内容を確認します。

更新プログラム通知画面で「更新」をクリックします。

本商品にプログラムの転送を開始します。転送はネットワークの状況によって、しばらく時間を必要とする場合があります。

STOP お願い

- バージョンアップ中は、絶対に下記の操作を行わないでください。故障の原因となることがあります。
 - *本商品を再起動する。
 - *本商品の「WAN インターフェースの停止」をする。
 - *主装置の電源を切る。
 - *パソコンの電源を切る。

お知らせ

- 自動バージョンアップによるプログラムのダウンロード／更新中は、保守用電話機に本商品がバージョンアップ中であることが表示されます。
- ルーター機能が「無効」の場合は、Web ブラウザーからの操作により、変更内容を確認する機能や手動による更新操作を利用することはできません。

6 更新が終了したら、本商品を再起動します。(▶P60)

正常に書き換えられると新しいプログラムで動作するようになります。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

ローカルバージョンアップ

プログラムファイルをパソコンに用意し、パソコンからの操作でバージョンアップを行う機能です。

■バージョンアップの手順

1 最新のプログラムファイルを用意し、パソコンに新しいフォルダーを作成して保存しておきます。

2 メインメニューで「プログラムバージョンアップ」をクリックします。
バージョンアップメニューが表示されます。

3 バージョンアップメニューで「ローカルバージョンアップ」をクリックします。
ローカルバージョンアップ画面が表示されます。

4 「参照」ボタンをクリックし、手順 1 で用意したプログラムファイルを指定します。

5 「送信開始」ボタンをクリックします。
本商品のプログラムの転送を開始します。転送は、ネットワークの状況によって、しばらく時間を必要とする場合があります。

転送が正常に完了したら、「更新開始」ボタンをクリックします。

6

STOP お願い

- プログラムの転送中および更新中は、絶対に下記の操作を行わないでください。故障の原因となることがあります。
 - * 本商品を再起動する。
 - * 主装置の電源を切る。
 - * パソコンの電源を切る。

7 更新が終了したら、本商品を再起動します。(P60)
正常に書き換えられると新しいプログラムで動作するようになります。

IPv4 インターネットを利用する場合の設定例を示します。

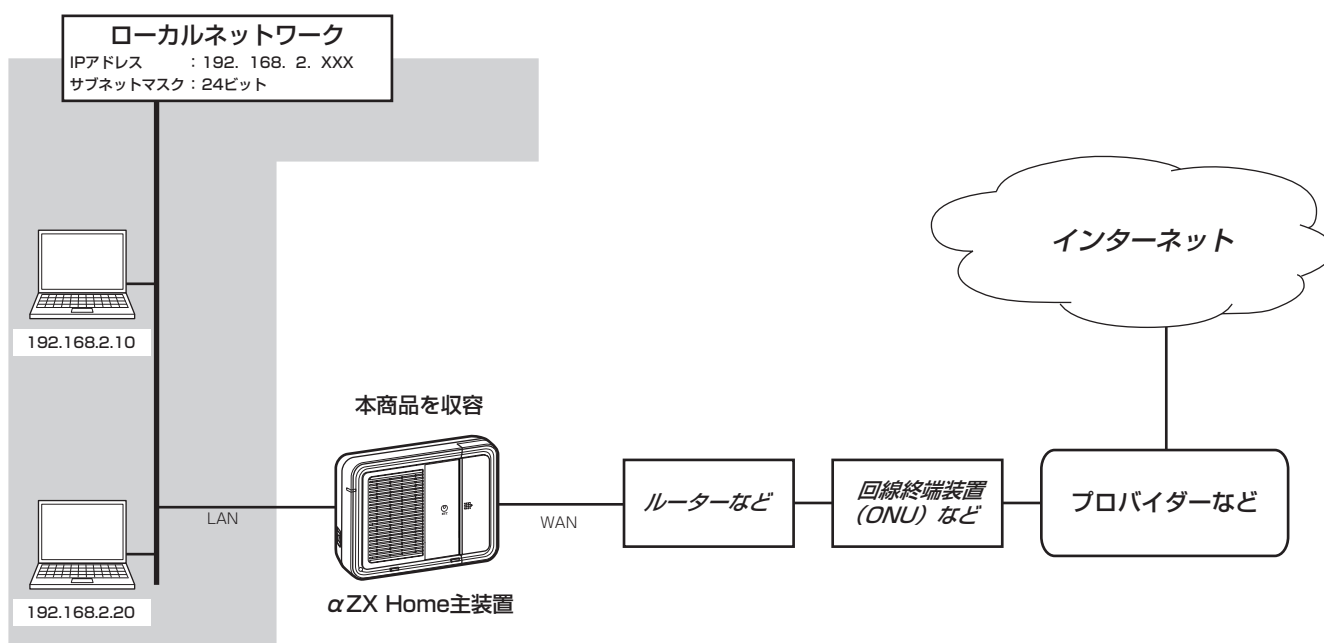
■設定について

端末型によるアドレス変換を使用したインターネット接続を行います。
ただし、DNS サーバーアドレスはプロバイダーなどから自動取得とします。
アドレス変換設定は、アドレス変換を「端末型変換」に設定します。

●ネットワークを以下のようにします。

ローカルネットワーク : IP アドレス 192.168.2.XXX
 : サブネットマスク 24ビット

【構成図】



●ローカルネットワークの本商品は次の項目の設定が必要です。

1. LAN インターフェイス設定 (☛P20)
2. WAN インターフェイス設定 (☛P21)
3. ProxyDNS 設定 (☛P31)
4. アドレス変換設定 (☛P34)
5. ルーティング設定 (☛P37)

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

■以下の項目を設定してください

設定方法については「3. 接続する」、「4. データ設定を行う」を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、初期値のままご利用ください。

●インターフェース設定－LAN インターフェース設定

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	LAN
2	IP アドレス	192.168.2.1 ※
3	サブネットマスク	24 ※

※本商品の上部ルーターなどの LAN 側ネットワークアドレスと異なるネットワークアドレスとなるように設定します。

●インターフェース設定－WAN インターフェース設定－PPPoE 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	INTERNET
2	セッション	有効
3	認証方式	プロバイダーから通知された認証方式
4	接続ユーザー名	プロバイダーから割り当てられたユーザー名
5	接続パスワード	プロバイダーから割り当てられたパスワード

●DNS 設定－ProxyDNS 設定

No	データ名称	設定するデータ
1	ProxyDNS 機能	有効
2	問い合わせ先取得方法	自動取得
3	自動取得先インターフェース	INTERNET

●アドレス変換設定－NAT 設定

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	INTERNET
2	IP アドレス変換方式	端末型変換

●ルーティング設定－デフォルトルート

No	データ名称	設定するデータ
1	経路先	INTERNET
2	ホップ数	1



お知らせ

- インターネット接続を行う場合、本商品の DNS 設定によりパソコンに対して DNS サーバーアドレスの設定を行う必要があります。
 - * ProxyDNS 機能「有効」の場合 : 本商品の IP アドレスを設定する
 - * ProxyDNS 機能「無効」の場合 : プロバイダーから通知された DNS サーバーアドレスを設定する
- 本設定例のほかに、本商品の上部装置（ルーターなど）にパソコンなどを接続してもご利用できます。設定については、上部装置の取扱説明書を参照してください。

インターネット(IPv4)とサービス情報サイト(NGN IPv6/NGN IPv4)を同時に利用する設定例

IPv6ブリッジ設定を利用し、インターネット(IPv4)と「サービス情報サイト(NGN IPv6)」へ同時に接続することができます。
併せて、ドメインルーティング設定を利用することにより、「サービス情報サイト(NGN IPv4)」も同時に接続することができます。

■設定について

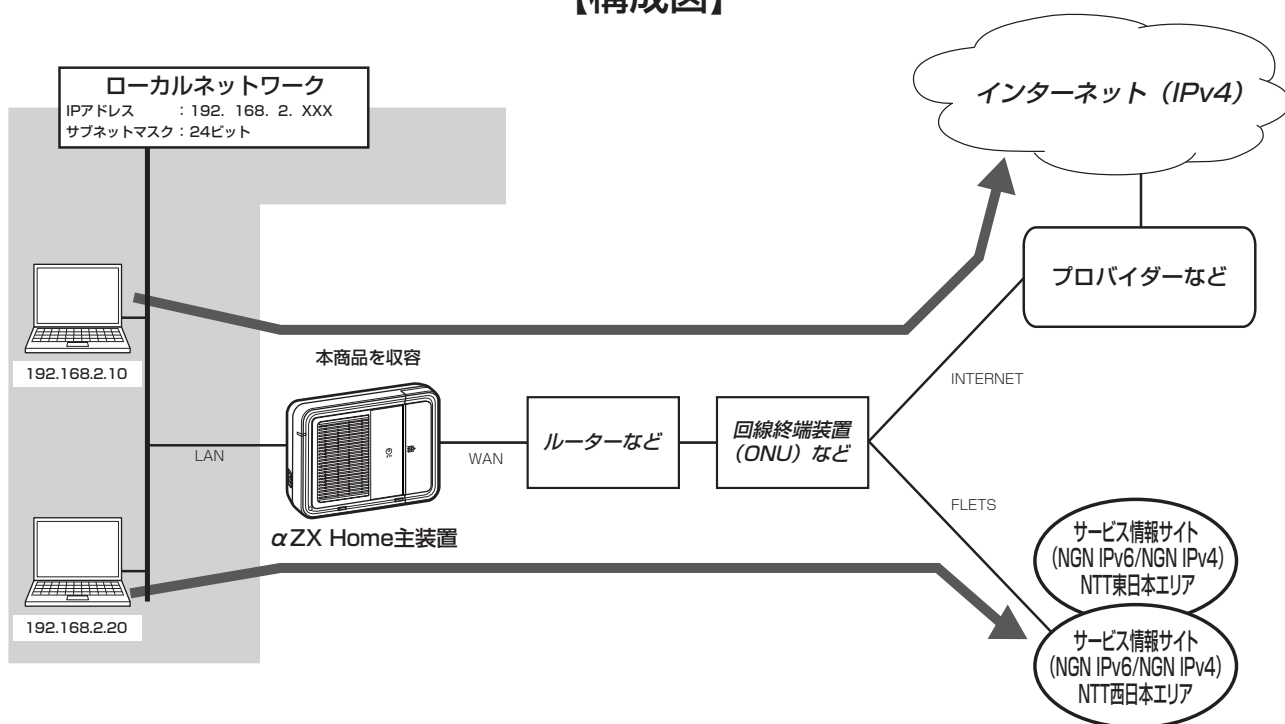
「サービス情報サイト(NGN IPv6)」、インターネット(IPv4)接続と「サービス情報サイト(NGN IPv4)」接続の設定を行います。

「サービス情報サイト(NGN IPv6)」の接続はIPv6ブリッジ設定で行います。

インターネット(IPv4)接続と「サービス情報サイト(NGN IPv4)」接続は、WANインターフェース設定とドメインルーティング設定で行います。

- ローカルネットワークに接続されているパソコンから、インターネット(IPv4)と「サービス情報サイト(NGN IPv6/NGN IPv4)」へ接続を行います。

【構成図】



- 本商品には次の項目の設定が必要です。

1. LAN インターフェース設定 (☛P20)
2. IPv6ブリッジ設定 (☛P27)
3. WAN インターフェース設定 (☛P21)
4. アドレス変換設定 (☛P34)
5. ルーティング設定 (☛P37)
6. ProxyDNS 設定 (☛P31)

「サービス情報サイト」とは

「サービス情報サイト」は、フレッツサービスをご利用のお客様専用のサイトです。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

インターネット(IPv4)とサービス情報サイト(NGN IPv6/NGN IPv4)を同時に利用する設定例

■以下の項目を設定してください。

設定方法については「3. 接続する」、「4. データ設定を行う」を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、初期値のままご利用ください。

●インターフェース設定－LAN インターフェース設定

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	LAN
2	IP アドレス	192.168.2.1 ※
3	サブネットマスク	24 ※

※本商品の上部ルーターなどのLAN 側ネットワークアドレスと異なるネットワークアドレスとなるように設定します。

●インターフェース設定－IPv6 ブリッジ設定（サービス情報サイト（NGN IPv6）に対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	IPv6 ブリッジ接続	する

●インターフェース設定－WAN インターフェース設定－PPPoE 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	INTERNET
2	セッション	有効
3	認証方式	プロバイダーから通知された認証方式
4	接続ユーザー名	プロバイダーから割り当てられたユーザー名
5	接続パスワード	プロバイダーから割り当てられたパスワード

●インターフェース設定－WAN インターフェース設定－PPPoE 設定（サービス情報サイト（NGN IPv4）に対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	FLETS
2	セッション	有効
3	認証方式	PAP
4	接続ユーザー名	NTT 東日本：guest@v4flets-east.jp NTT 西日本：flets@v4flets-west.jp
5	接続パスワード	NTT 東日本：guest NTT 西日本：flets

●DNS 設定－ProxyDNS 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	ProxyDNS 機能	有効
2	問い合わせ先取得方法	自動取得
3	自動取得先インターフェース	INTERNET

●アドレス変換設定－NAT 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	INTERNET
2	IP アドレス変換方式	端末型変換

●アドレス変換設定－NAT 設定（サービス情報サイト（NGN IPv4）に対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	FLETS
2	IP アドレス変換方式	端末型変換

●ルーティング設定－デフォルトルート設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	経路先	INTERNET
2	経路先 IP アドレス	－
3	ホップ数	1

●ルーティング設定ードメインルーティング設定（サービス情報サイト（NGN IPv4）に対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	ドメイン名	NTT 東日本エリア：v4flets-east.jp NTT 西日本エリア：v4flets-west.jp
2	経路先	FLETS
3	DNS サーバーアドレス	—
4	ホップ数	1

**お知らせ**

- IPv6 をご利用いただけないパソコンをご利用の場合は、「サービス情報サイト（NGN IPv6）」ではなく「サービス情報サイト（NGN IPv4）」への接続となります。
- お使いのパソコンや本商品に DNS 問い合わせ結果が保存されている場合は、ドメインルーティングが正常に動作しないことがあります。このような場合は、以下の操作により DNS 問い合わせ結果をクリアしてください。
 - パソコンを再起動する
 - 本商品の DNS キャッシュテーブルをクリアする（●P56）
- IPv6 インターネットサービスをご利用の場合は、本商品の上部装置（ひかり電話対応機器など）のネットワークにパソコンなどを接続してご利用ください。詳細は「IPv6 インターネットを利用する場合の設定例」（●P76）をご参照ください。
- 本設定例のほかに、本商品の上部装置（ルーターなど）にパソコンなどを接続してもご利用できません。設定については、上部装置の取扱説明書を参照してください。

PPPoE ブリッジ機能を使用して サービス情報サイトを利用する設定例

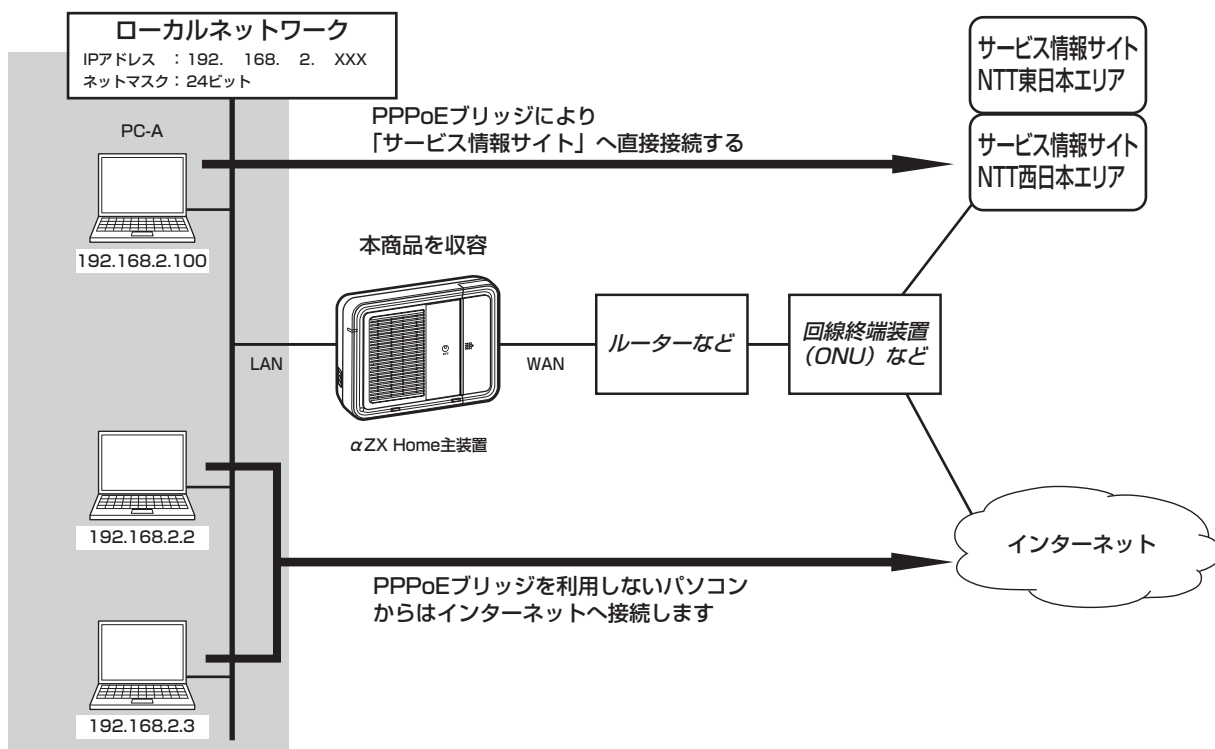
PPPoE ブリッジ接続を利用し、LAN に接続されているパソコンから直接 PPPoE により「サービス情報サイト」へ接続させます。
 インターフェイス設定から WAN インターフェイスを設定することにより、直接 PPPoE 接続されていないパソコンからインターネットへ接続できます。

■設定について

インターネット接続と PPPoE ブリッジの設定を行います。
 インターネット接続は、WAN インターフェイス設定で行います。
 PPPoE ブリッジ接続は、PPPoE ブリッジ設定で行います。

- ローカルネットワークに接続されている PC-A から PPPoE ブリッジ接続により「サービス情報サイト」へ接続を行います。その他のパソコンからは、インターネットへ接続します。

【構成図】



- PC-A は「サービス情報サイト」へ接続するためのアカウントの設定が必要です。

アカウントの設定については、「インターネット (IPv4) とサービス情報サイト (NGN IPv6/NGN IPv4) を同時に利用する設定例」(●P66) の、「●インターフェイス設定 - WAN インターフェイス設定 - PPPoE 設定 (サービス情報サイト (NGN IPv4) に対する設定)」を参照してください。

- 本商品は次の項目の設定が必要です。

1. LAN インターフェイス設定 (●P20)
2. WAN インターフェイス設定 (●P21)
3. PPPoE ブリッジ設定 (●P26)
4. ProxyDNS 設定 (●P31)
5. ルーティング設定 (●P37)

■以下の項目を設定してください。

設定方法については「3. 接続する」、「4. データ設定を行う」を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、初期値のままご利用ください。

●インターフェース設定－LAN インターフェース設定

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	LAN
2	IP アドレス	192.168.2.1 ※
3	サブネットマスク	24 ※

※本商品の上部ルーターなどのLAN 側ネットワークアドレスと異なるネットワークアドレスとなるように設定します。

●インターフェース設定－WAN インターフェース設定－PPPoE 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	INTERNET
2	セッション	有効
3	認証方式	プロバイダーから通知された認証方式
4	接続ユーザー名	プロバイダーから割り当てられたユーザー名
5	接続パスワード	プロバイダーから割り当てられたパスワード

●インターフェース設定－PPPoEブリッジ設定

No	データ名称	設定するデータ
1	PPPoE ブリッジ接続	する

●DNS 設定－ProxyDNS 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	ProxyDNS 機能	有効
2	問い合わせ先取得方法	自動取得
3	自動取得先インターフェース	INTERNET

●ルーティング設定－デフォルトルート（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	経路先	INTERNET
2	ホップ数	1



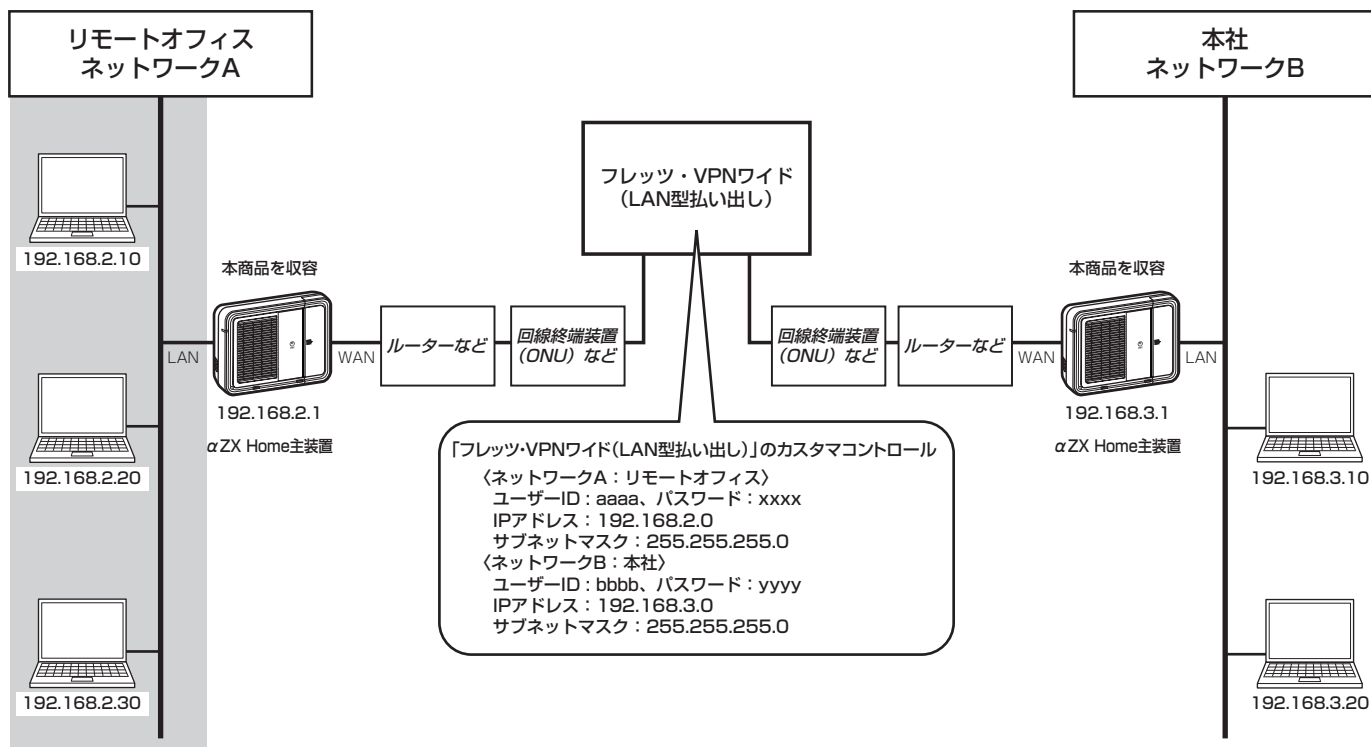
お知らせ

- PPPoE ブリッジにより「サービス情報サイト」へ接続されているパソコンから、インターネットを同時に利用できないことがあります。
- パソコンからの PPPoE による接続プロバイダーと本商品の接続プロバイダーが同じアカウントに設定されていると、同時に接続することができないことがあります。ご注意ください。
- 本設定例のほかに、本商品の上部装置（ルーターなど）にパソコンなどを接続してもご利用できます。設定については、上部装置の取扱説明書を参照してください。

フレッツ・VPN ワイド (LAN 型払い出し) 利用時の設定例

ここでは、「フレッツ・VPN ワイド (LAN 型払い出し)」の利用によるフレッツ・シリーズご契約者間でグループを構成したグループ内通信の設定例を示します。
「フレッツ・VPN ワイド (LAN 型払い出し)」で利用する IP アドレスは、当社サーバーまたはグループ内の VPN 管理者から付与されます。

【構成図】



● 「フレッツ・VPN ワイド (LAN 型払い出し)」での接続にフレッツ 光ネクストを利用し「LAN 型払い出し」により IP アドレスを付与する場合は、次の項目の設定が必要です。

1. LAN インターフェース設定 (☛P20)
2. WAN インターフェース設定 (☛P21)
3. アドレス変換設定 (☛P34)
4. ルーティング設定 (☛P37)

■以下の項目を設定してください。

設定方法については「3. 接続する」、「4. データ設定を行う」を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、初期値のままご利用ください。

●インターフェース設定－LAN インターフェース設定

No	データ名称	設定するデータ	
		ネットワークAの本商品	ネットワークBの本商品
1	インターフェース名	REMOTE-A	REMOTE-B
2	IPアドレス	192.168.2.1 ※	192.168.3.1 ※
3	サブネットマスク	24 ※	24 ※

※本商品の上部ルーターなどのLAN側ネットワークアドレスと異なるネットワークアドレスとなるように設定します。

●インターフェース設定－WAN インターフェース設定－PPPoE設定（「フレッツ・VPN ワイド（LAN型払い出し）」に対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
		ネットワークA、ネットワークBの本商品
1	インターフェース	VPNW
2	セッション	有効
3	認証方式	当社サーバーまたはVPN管理者から指定された認証方式
4	接続ユーザー名	当社サーバーまたはVPN管理者から割り当てられたユーザー名※
5	接続パスワード	当社サーバーまたはVPN管理者から割り当てられたパスワード※

※ネットワークAおよびネットワークBの本商品で、それぞれ異なるユーザー名、パスワードを設定します。

●アドレス変換設定－NAT設定（「フレッツ・VPN ワイド（LAN型払い出し）」に対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
		ネットワークA、ネットワークBの本商品
1	インターフェース名	VPNW
2	IPアドレス変換方式	しない

●ルーティング設定－デフォルトルート

No	データ名称	設定するデータ	
		ネットワーク A、ネットワーク B の本商品	
1	ルーター機能	有効	
2	ダイナミックルーティング機能	無効	
3	ルーティング情報送付	無効	
4	経路先	任意	
5	経路先 IP アドレス	-	
6	ホップ数	1	

●ルーティング設定－スタティック IP ルーティング

No	データ名称	設定するデータ	
		ネットワーク A の本商品	ネットワーク B の本商品
1	IP アドレス	192.168.3.0	192.168.2.0
2	サブネットマスク	24	24
3	経路先	VPNW	VPNW
4	経路先 IP アドレス	-	-
5	ホップ数	1	1



ワンポイント

●カスタマコントロール設定を行うには

カスタマコントロール用の接続設定が必要になります。詳しくは、フレッツ・VPN ワイドサービス申込受付ページカスタマコントロール操作マニュアル (NTT 東日本) / フレッツ・VPN ワイドユーザーズマニュアル (NTT 西日本) を参照してください。



お知らせ

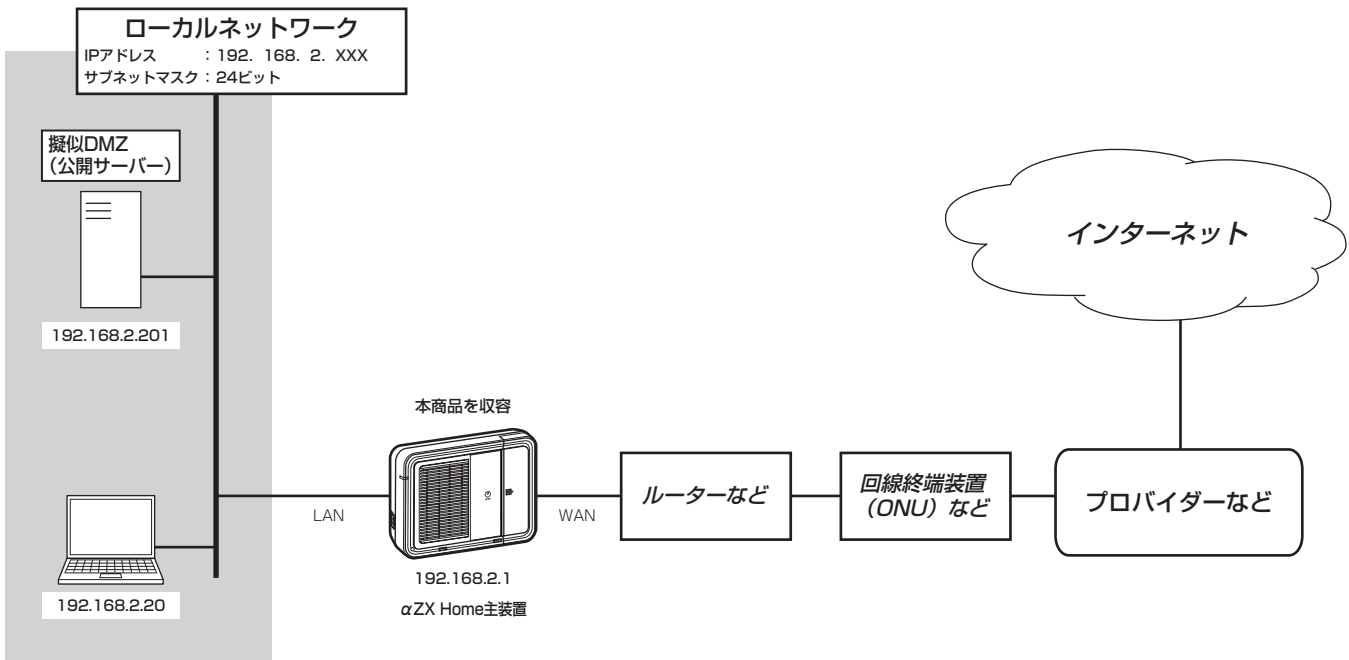
- グループ内の IP 通信は、共有フォルダーの利用によるファイル共有やファイルサーバーへのアクセス、Web サーバーを利用した情報共有などが可能となります。(ご利用者の環境や設定により異なります) 本サービスで使用できる通信は、TCP/IP となります。
- Windows のファイル共有をご利用になる場合は、本商品の NetBIOS およびダイレクト・ホスティング SMB サービスのフィルタリング設定を削除してください。
- 本設定例のほかに、本商品の上部装置 (ルーターなど) にパソコンなどを接続してもご利用できます。設定については、上部装置の取扱説明書を参照してください。

擬似的な DMZ の設定例

静的 NAPT 機能を使用し、ローカルネットワークに擬似的な DMZ を設置した場合の設定例を示します。

擬似的な DMZ を設置することにより、サーバーを公開することができます。プロバイダーから割り当てられたグローバル IP アドレスへアクセスすることにより、インターネット側から公開サーバーへアクセスすることができます。

【構成図】



● DMZ をもうけて公開サーバーを設置する場合は、次の項目の設定が必要です。

1. LAN インターフェース設定 (●P20)
2. WAN インターフェース設定 (●P21)
3. アドレス変換設定 (●P34)
4. ルーティング設定 (●P37)

■以下の項目を設定してください。

設定方法については「3. 接続する」、「4. データ設定を行う」を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、初期値のままご利用ください。

●インターフェース設定－ LAN インターフェース設定

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	LAN
2	IP アドレス	192.168.2.1 ※
3	サブネットマスク	24 ※

※本商品の上部ルーターなどの LAN 側ネットワークアドレスと異なるネットワークアドレスとなるように設定します。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
前に
設
定
を
す
る

3
接
続
す
る

4
行
う
デ
ー
タ
設
定
を

5
運
用
す
る

6
主
な
設
定
例

7
ご
参
考
に

擬似的な DMZ の設定例

●インターフェース設定－WAN インターフェース設定－PPPoE 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	INTERNET
2	セッション	有効
3	認証方式	プロバイダーから指定された認証方式
4	接続ユーザー名	プロバイダーから割り当てられたユーザー名
5	接続パスワード	プロバイダーから割り当てられたパスワード

●アドレス変換設定－NAT 設定（インターネットに対する設定）

No	データ名称	設定するデータ
1	インターフェース名	INTERNET
2	IP アドレス変換方式	端末型変換

●アドレス変換設定－静的 NAPT 設定

No	データ名称	設定するデータ
1	プロトコル	TCP
2	開始ポート番号	80
3	終了ポート番号	80
4	IP アドレス	192.168.2.201

●ルーティング設定－デフォルトルート

No	データ名称	設定するデータ
1	ルーター機能	有効
2	ダイナミックルーティング機能	無効
3	ルーティング情報送付	無効
4	経路先	INTERNET
5	経路先 IP アドレス	－
6	ホップ数	1

DHCP サーバー機能による IP アドレスの自動割り付け設定例

DHCP サーバー機能による IP アドレスの自動割り付けを行う場合の設定例を示します。

■設定について

DHCP サーバーにより、ネットワーク端末に対して IP アドレスの動的割り付けを行うことができます。ネットワーク端末は、IP アドレスを自動的に割り付ける設定にすることで、本商品に設定されているデータにより IP アドレスを割り付けます。

DHCP サーバーによる IP アドレスの割り付けは、設定されている IP アドレスの範囲から割り付ける方法と、静的に割り付ける方法があります。

■以下の項目を設定してください。

設定方法については「3. 接続する」、「4. データ設定を行う」を参照してください。この設定表に記載されていない項目については、初期値のままご利用ください。

※ DHCP サーバー機能により、192.168.1.2 ~ 192.168.1.65 までの 64 個を割り付ける IP アドレスに設定する場合は、次のようになります。

● DHCP サーバー設定

No	データ名称	設定するデータ
1	DHCP サーバー機能	有効
2	割り付け先頭 IP アドレス	192.168.1.2
3	割り付け数	64
4	リース時間	24

※静的に IP アドレスを割り付けるには、次のように設定します。

MAC アドレス：00:02:2B:12:34:56（例）に IP アドレス：192.168.1.220 を割り付けます。

● DHCP サーバー設定－固定割り付けテーブル設定

No	データ名称	設定するデータ
1	IP アドレス	192.168.1.220
2	ホスト名	任意
3	MAC アドレス	00:02:2B:12:34:56（例）

お知らせ

- 端末の MAC アドレスは、接続されている LAN カード／ボードに記載されています。詳しくは使用している LAN カード／ボードの取扱説明書を参照してください。
- DHCP サーバーによる IP アドレスの割り付けは、LAN インターフェース側でのサポートとなります。
- 固定割り付けテーブルの設定は、ホスト名および MAC アドレスの設定により IP アドレスを静的に割り付けます。ホスト名のみでの登録では割り付けが重複することがあります。
- すでに DHCP サーバーがネットワークに接続されている場合は、本商品の DHCP サーバー機能を「無効」に設定し、DHCP サーバー側で一括管理してください。
- 本設定例のほかに、本商品の上部装置（ルーターなど）にパソコンなどを接続してもご利用できます。設定については、上部装置の取扱説明書を参照してください。

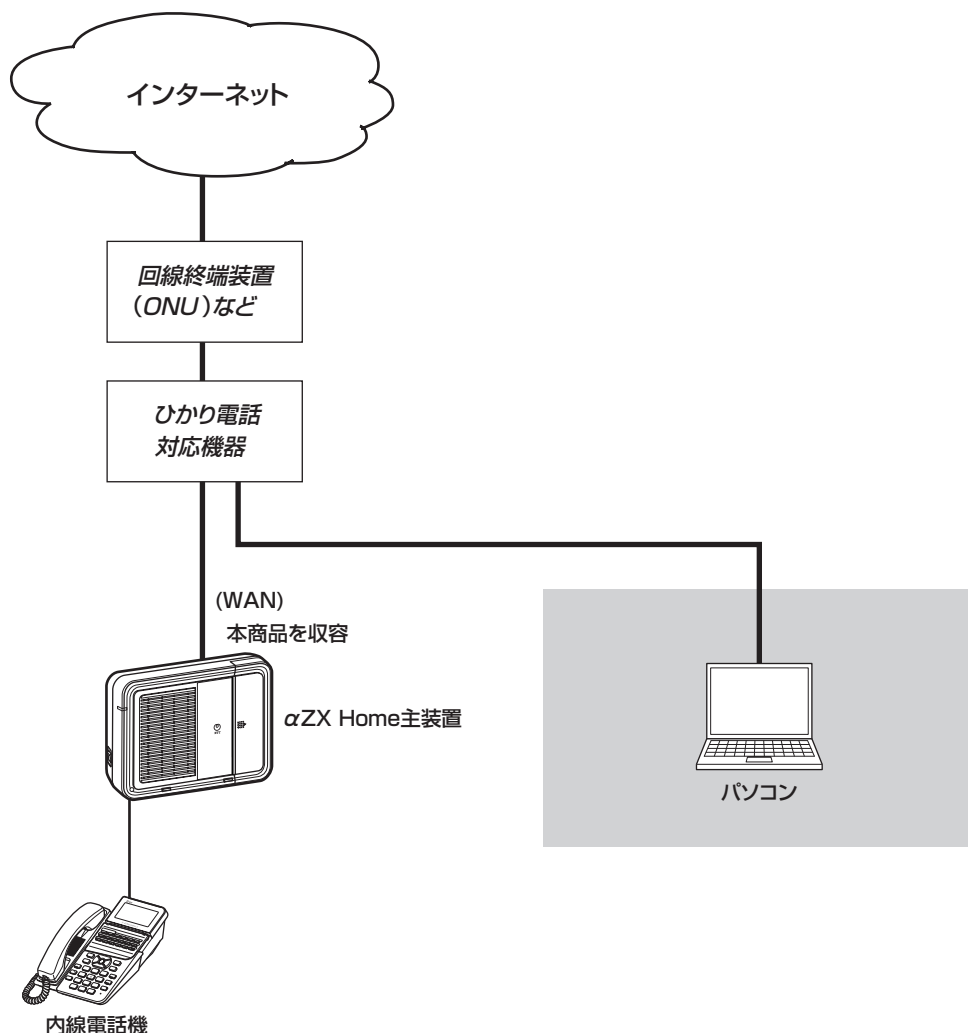
1 前に
お使いになる2 前に
設定をする3
接続する4
データ設定を
行う5
運用する6
主な設定例7
ご参考に

IPv6 インターネットを利用する場合の設定例

IPv6 インターネットを行う場合の設定例を示します。

本商品は IPv6 による高速インターネットに対応していないため、本商品の上部装置（ひかり電話対応機器など）のネットワークにパソコンなどを接続してご利用ください。

【構成図】



お知らせ

- ひかり電話対応機器が IPv6 インターネットに対応していることをご確認ください。
- IPv6 インターネットをご利用になるパソコンなどの端末は、本商品の上部装置（ひかり電話対応機器など）のネットワークに接続してご利用ください。詳細な接続方法などは、上部装置のご利用方法をご確認ください。
- 本商品の設定は不要です。

■ IP 電話サービスの利用

- IP 電話サービスをご利用いただくためには、プロバイダーなどとの契約および本商品への電話関連の設定が必要です。本商品の電話関連の設定は、工事担当者が行います。
なお、本商品がインターネットに接続されていない場合やプロバイダーなどのサーバーと通信ができない場合、IP 電話サービスを使用したサービスはご利用できません。
- IP 電話サービスはプロバイダーなどが提供するサービスです。IP 電話サービスのサービス内容や利用料金などを、ご契約されるプロバイダーなどに必ずご確認ください。
- IP 電話サービスとして通話した場合の通話料金はプロバイダーなどから請求されます。また、IP 電話サービスとして通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、プロバイダーなどから付与された電話番号です。
- IP 電話サービスとして接続できない通話（IP 電話サービス対象外の番号をダイヤルした場合など）は、主装置の設定により加入電話／INS ネットを利用して自動的に迂回発信できます。迂回発信される条件はご契約された IP 電話サービスによって異なりますので、プロバイダーなどにご確認ください。
- IP 電話サービスの通話品質は、下記のような場合に劣化することがあります。
 - －契約回線（フレッツ 光ネクスト）の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
 - －インターネットで十分な帯域が確保できない場合
 - －本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- IP 電話サービスでファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。確実に通信したい場合には、加入電話／INS ネットをご利用ください。
- IP 電話サービスでの通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動中、システム更新中は、通話が切断されます。
- ひかり電話をご利用の場合は、ひかり電話対応機器と本商品の WAN の間にハブを入れしないでください。ひかり電話対応機器と本商品は必ず直結してください。
ひかり電話対応機器と通信が切断された場合、本商品は自動的に再起動を行います。
ひかり電話対応機器と本商品を直結しない場合、ひかり電話対応機器が再起動などした場合に最大で約 30 分通話ができなくなることがあります。

1
前に
お使いになる2
前に
設定をする3
接続する4
行う
データ設定を5
運用する6
主な設定例7
ご参考に

停電になったときは

ご利用中に停電になった場合は以下のことにご注意ください。

●停電時には以下のことにご注意ください。

LAN 側に接続されたパソコン	インターネット接続	ご利用になれません	
すべての内線電話機	IP 電話サービス		
ブロードバンドルーターユニット (本商品)	設定データ 保存中	LAN 側 IP アドレス	お買い求め時の IP アドレス(192.168.1.1) に変更される場合があります 設定変更前または設定変更後の IP アドレス で本商品にアクセスできない場合は、内線電 話機で IP アドレスを確認してください
		その他の設定	設定データはお買い求め時の初期値に変更さ れる場合があります

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼する前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
インターネットにアクセスできない/ IP 電話サービスが利用できない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	—
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	—
	停電中	停電が復旧するまでご利用になれません	●P78
インターネットにアクセスできない	パソコンのネットワーク設定が間違っている	パソコンのネットワーク設定を確認してください	●P14
	本商品のルーター設定が間違っている	本商品のルーター設定を確認してください	●P20 ●P59
IP 電話サービスが利用できない	WAN 側との通信が切断されている	WAN インターフェースの手動操作により接続し直すか、または、本商品の再起動を行ってください	●P54 ●P60
	設定された IP 電話回線を使用していない	IP 電話回線が設定されている外線ボタンを使用してください	—
	その他の原因	主装置の取扱説明書をご確認ください	—

1
前に
お使いになる2
前に
設定をする3
接続する4
行う
データ設定を5
運用する6
主な設定例7
ご参考に

以下に本文中の用語の説明を行います。

数字

- 10BASE-T** …… IEEE802.3 で規格されたもので、イーサネット (CSMA / CD) LAN でデータ転送速度が 10Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル (通常、LAN 機器とハブを接続するような場合に使用されるケーブル) を用います。
- 100BASE-TX** …… IEEE802.3u で規格された高速 LAN の 1 つで、LAN でデータ転送速度が 100Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル (通常、LAN 機器とハブを接続するような場合に使用されるケーブル) を用います。

アルファベット

- ASCII 文字** …… 米国規格協会 (ANSI) が制定した標準符号。ASCII は 7 ビットで構成され、制御文字、特殊文字、数字、英大・小文字の 128 種類の文字を表現します。
- CHAP (Challenge Handshake Authentication Protocol)** ……
PAP と同様に認証を行うプロトコルですが、パスワードを通知するときにパスワードを暗号化して送ることでパスワードの盗視を防ぐため、よりセキュリティが高いプロトコルです。
- DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol < RFC2131 >)** ……
DHCP は、IP アドレスや DNS サーバーアドレスなど、ネットワーク端末の設定情報を動的に割り付けるプロトコルです。
- DNS (Domain Name System)** ……
DNS は、ネットワークの IP アドレスとドメイン名を解決するためのシステムで、ドメイン名から対応する IP アドレスへの変換 / 逆変換を行います。
- IPCP** …… Internet Protocol Control Protocol の略。
- IPv6** …… Internet Protocol Version 6 の略で、アドレス空間増加やセキュリティ機能追加などに対応した次世代のインターネットプロトコルです。
- IP アドレス** …… TCP / IP で通信をする場合に、ネットワーク上の機器を特定するために使用される番号を指します。IP アドレスは、4 バイトのデータからなり、インターネットに接続中のすべての機器に個別の IP アドレスが割り当てられています。
- IP 電話サービス** …… ひかり電話網や IP 網を利用して通話する電話のことを表します。
- IP プロトコル** …… 取扱説明書で使用している IP プロトコルまたは IP プロトコルタイプは、IP に関連するパケットの総称として使用しています。特にプロトコルとして存在するわけではありません。
- IP マスカレード** …… IP アドレス変換方式の 1 つで、ローカルネットワークに接続された複数の端末の IP アドレスを、1 つのグローバル IP アドレスに変換することにより、複数の端末からインターネットへ接続することができます。また、IP アドレスの変換を行うことで、ローカルネットワークを外部から隠ぺいすることができるため、セキュリティ効果が得られます。
- LCP** …… Link Control Protocol の略。
- MAC アドレス** …… MAC アドレスは、イーサネットに接続時に使用される物理的なアドレスで、データ通信時に送信先 / 送信元アドレスで使用されるものです。MAC アドレスとイーサネットアドレスは同義語です。
MAC アドレスは 6 バイトからなり、各 LAN 端末ごとにユニークな値が割り当てられています。(MAC アドレスは、LAN のインターフェースに世界で 1 つ割り当てられる番号です。また、変更も不可能です。)

NAT (Network Address Translation) ……

NATは、RFC1631で提案されているIPアドレスの変換方式で、インターネットなどで使用するグローバルなIPアドレスとローカルなIPアドレスを変換する方式について記載されています。

NAPT (Network Address Port Translation) ……

IPアドレス変換方式の1つで、IPマスカレードとほぼ同じ機能です。

PAP (Password Authentication Protocol) ……

パスワード認証プロトコルで、ネットワークアクセス時にパスワードにより認証を行い、不正なアクセスを防ぐためのプロトコルです。

PPP (Point to Point Protocol < RFC1661 >) ……

公衆網などのシリアル回線においてデータ転送を行う場合の標準化プロトコルです。

PPPoE (PPP over Ethernet) ……

インターネットへのダイヤルアップ接続で最も一般的に使われているPPP機能をイーサネット上で使うためのプロトコルです。

ProxyDNS…………… ネットワーク端末からのDNS問い合わせをDNSサーバーへ中継します。また中継されたデータのキャッシュを行うことで、DNS問い合わせに対して代理で応答することができます。

RFC (Request for Comments) ……

IETF(Internet Engineering Task Force)がとりまとめている文章のことを指し、TCP/IPやPPPなどの規格としても知られています。

RIP (Routing Information Protocol) ……

IPに関するルーティングテーブルをルーター間でやりとりするプロトコルです。このプロトコルを使用することにより、ルーター間でルーティング情報を更新し、更新したテーブルにもとづき、ルーティングを行います。

UPnP (Universal Plug and Play) ……

パソコンや周辺機器、家電製品などを簡単に接続して、便利に使えるようにしようという規格の1つです。

五十音**【ア行】**

イーサネット…………… 1970年代に米国ゼロックス社が開発し、現在では代表的なLANの規格の1つです。インターネットの標準化組織であるIEEE802委員会が標準化した802.3CSMA/CDとイーサネットとは同義語として扱われることがあります。

イーサネットタイプ…………… イーサネットフレームにおける2バイトのデータで、上位レイヤのプロトコル種別を指します。

インターネット…………… インターネットとは、世界150か国以上にまたがり企業や学術施設、商用ネットワークなどを相互に結んだ世界最大のネットワークです。

【サ行】

- サブネットマスク**…………… サブネットマスクは、IP アドレスのネットワーク部分を識別するためのマスクを表し、IP アドレスの先頭ビットからのビット数をネットワーク部分と判断します。また取扱説明書では、フィルタリングなどで受信した IP アドレスを比較するビットとしてサブネットマスクを使用している場合もあります。
- 静的 IP マスカレード** …………… 静的 IP マスカレードとは、IP アドレス変換機能を利用時に、ポート番号から接続するローカルネットワーク端末へ一意に割り付けを行う機能です。この場合、指定されたポート番号の IP パケットは、すべて対応するローカルネットワーク端末へ転送されます。

【ハ行】

- バージョンアップ**…………… 最新のプログラムをダウンロードすることにより、最新の機能をご利用になれます。
- ハブ (HUB)**…………… ハブは LAN に接続させる中継器としての役割を持ち、複数の LAN を収容することによりネットワークを構築することができます。また、ハブは RJ45 のポートを複数収容し、ネットワーク機器とスター型で接続します。
- フィルタリング**…………… 送信／受信されるパケットの内容を判断し、パケットを通過させる／破棄するを決定することです。
- フォワード**…………… 送信するまたは受信したパケットを通過させることを指します。
- フレッツ 光ネクスト**…………… 接続回線に光ファイバを利用した次世代ネットワークの通信サービスです。
- プロトコル**…………… システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための通信規約です。
- プロバイダー**…………… 商用インターネットサービスプロバイダー（ISP）のこと。インターネットへの接続を有償で提供する接続サービス事業者です。
- ホップ数**…………… 宛先までに通過するルーターの数を表します。

【ラ行】

- ルーター**…………… 複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置です。

アルファベット

DHCP サーバー設定	28
IPv6 ブリッジ設定	27
IP 電話サービス	
IP 電話サービスについて	77
IP 電話サービスを使う	52
LAN インターフェース設定	20
NAT 設定	34
PPPoE ブリッジ設定	26
ProxyDNS 設定	31
UPnP 設定	25
WAN / VoIP の起動・停止を行う	54
WAN インターフェース設定	21
Web ブラウザーの設定	17

五十音

【ア行】

アドレス変換設定	34
運用時に利用できる操作	53

【カ行】

故障かな?と思ったら	79
------------	----

【サ行】

再起動	60
自動バージョンアップ	61
自動バージョンアップ設定	48
仕様	85
初期化	
設定データを初期化する	51
静的 NAPT 設定	35
設定	
DHCP サーバー設定	28
IPv6 ブリッジ設定	27
LAN インターフェース設定	20
NAT 設定	34
PPPoE ブリッジ設定	26
ProxyDNS 設定	31
UPnP 設定	25
WAN インターフェース設定	21
アドレス変換設定	34
自動バージョンアップ設定	48
静的 NAPT 設定	35
パスワード設定	47
フィルタリング設定	43
ルーティング設定	37
設定一覧表示	59
設定データを初期化する	51
設定データを保存する	50
設定方法について	19

1
前に
お使いになる2
前に
設定をする3
接続する4
行う
データ設定を5
運用する6
主な設定例7
ご参考に

設定例

- DHCP サーバー機能による IP アドレスの
自動割り付け設定例75
- IPv4 インターネットを利用する場合の設定例
.....63
- IPv6 インターネットを利用する場合の設定例
.....76
- PPPoE ブリッジ機能を使用してサービス情報
サイトを利用する設定例68
- インターネット (IPv4) とサービス情報サイト
(NGN IPv6/NGN IPv4) を同時に利用する
設定例65
- 擬似的な DMZ の設定例73
- フレッツ・VPN ワイド (LAN 型払い出し)
利用時の設定例70

【タ行】

- 停電になったときは78
- データ設定20
- 特長11

【ハ行】

- バージョンアップ61
- パスワード設定47
- パソコンの設定14
- フィルタリング設定43
- 保守サービス86
- 本商品にログインする18

【ヤ行】

- 用語の説明80

【ラ行】**利用例**

- インターネット接続および IP 電話サービスの
利用例12
- ルーティング設定37

レポート表示

- ARP テーブルを表示56
- DHCP 割り付け状態を表示57
- DNS キャッシュテーブルを表示56
- IP ルーティング情報を表示56
- インターフェース状態を表示55
- パケット統計情報を表示55
- ログを表示58
- ローカルバージョンアップ62**
- ログイン18**

項 目	仕 様	
LAN 側インターフェース	物理インターフェース	IEEE802.3 (10BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)
	伝送速度	10/100 Mbps 自動認識
	ポート数	2 ポート 全ポート AUTO-MDIX 機能搭載
	接続コネクタ	RJ45 (8 ピンモジュージャック)
	最大伝送距離	100 m
	対応プロトコル	TCP/IP
WAN 側インターフェース	物理インターフェース	IEEE802.3 (10BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)
	伝送速度	10/100 Mbps 自動認識
	ポート数	1 ポート AUTO-MDIX 機能搭載
	接続コネクタ	RJ45 (8 ピンモジュージャック)
	最大伝送距離	100 m
	対応プロトコル	TCP/IP、PPP、PPPoE、SIP
セッション数	最大 4 本	
VoIP インターフェース	対応プロトコル	SIP
	通話数	最大 2 通話
	音声符号化則	JT-G.711 μ Law

1
前に
お使用になる2
前に
設定をする3
接続する4
行う
データ設定を5
運用する6
主な設定例7
ご参考に

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。

「保証書」は主装置などに添付されています。

「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことを推奨します。

当社ホームページ：https://web116.jp/ced/index_biz.html
<https://flets-w.com/solution/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-970413**

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-248995**

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2021 NTTEAST・NTTWEST



本3483-1(2021.1)
ZXH-BRUトリセツ<1>

4350062100	H01
------------	-----